唐土訓蒙圖彙

自九至十一

目次

卷之九　器用之部
砲銃鉄鉞耕具織器類
卷之十　器用之部
冠冕衣裳旗旄木石類
卷之十一　艸木之部
山石芳蔓瓜蔬花卉類

031.
H545t
W

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t

ガラス使用

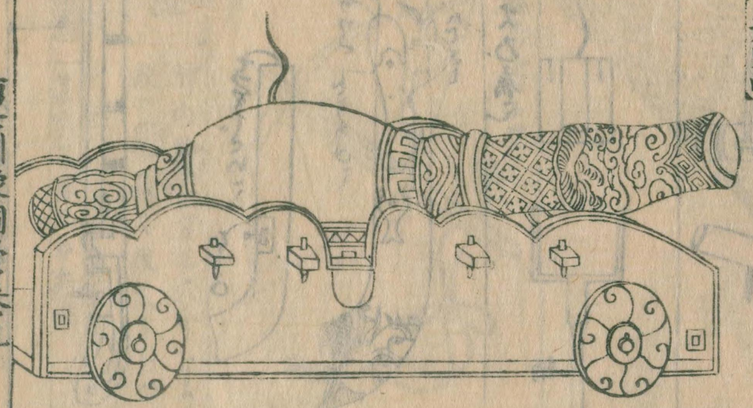
唐土訓蒙圖彙卷之九

器用之三

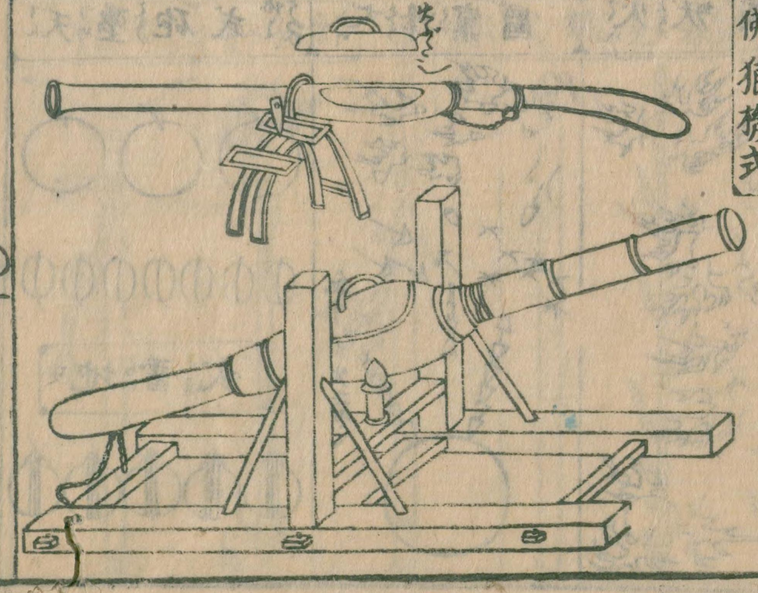
兵器

震天雷

此器重さ五百斤鉛子の数百と容るその重さ四斤しこれまたくハ石とも弾めて和ハいし火矢大筒をいふなりこれ城と攻敵をくざくの利器ゆへ

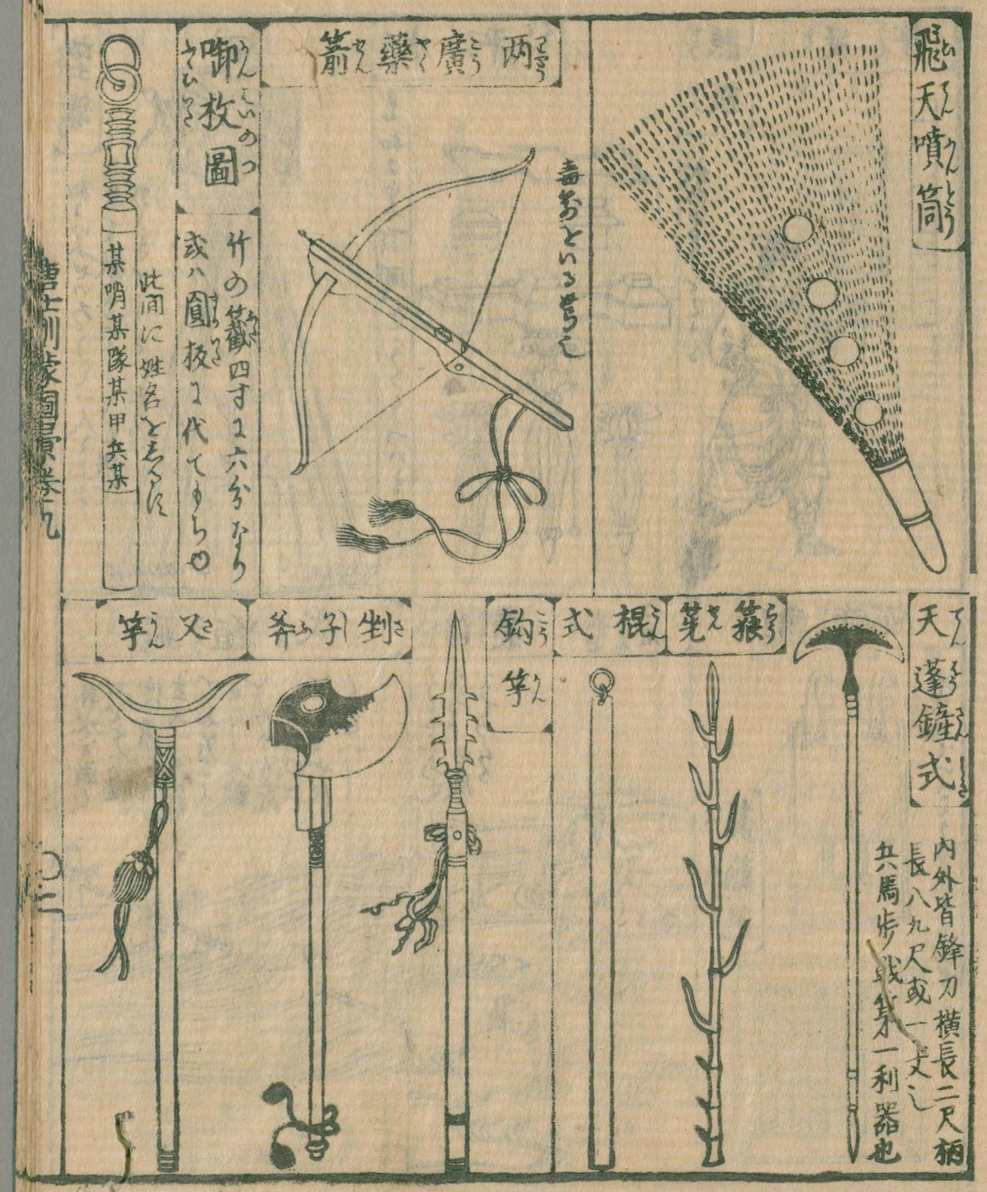


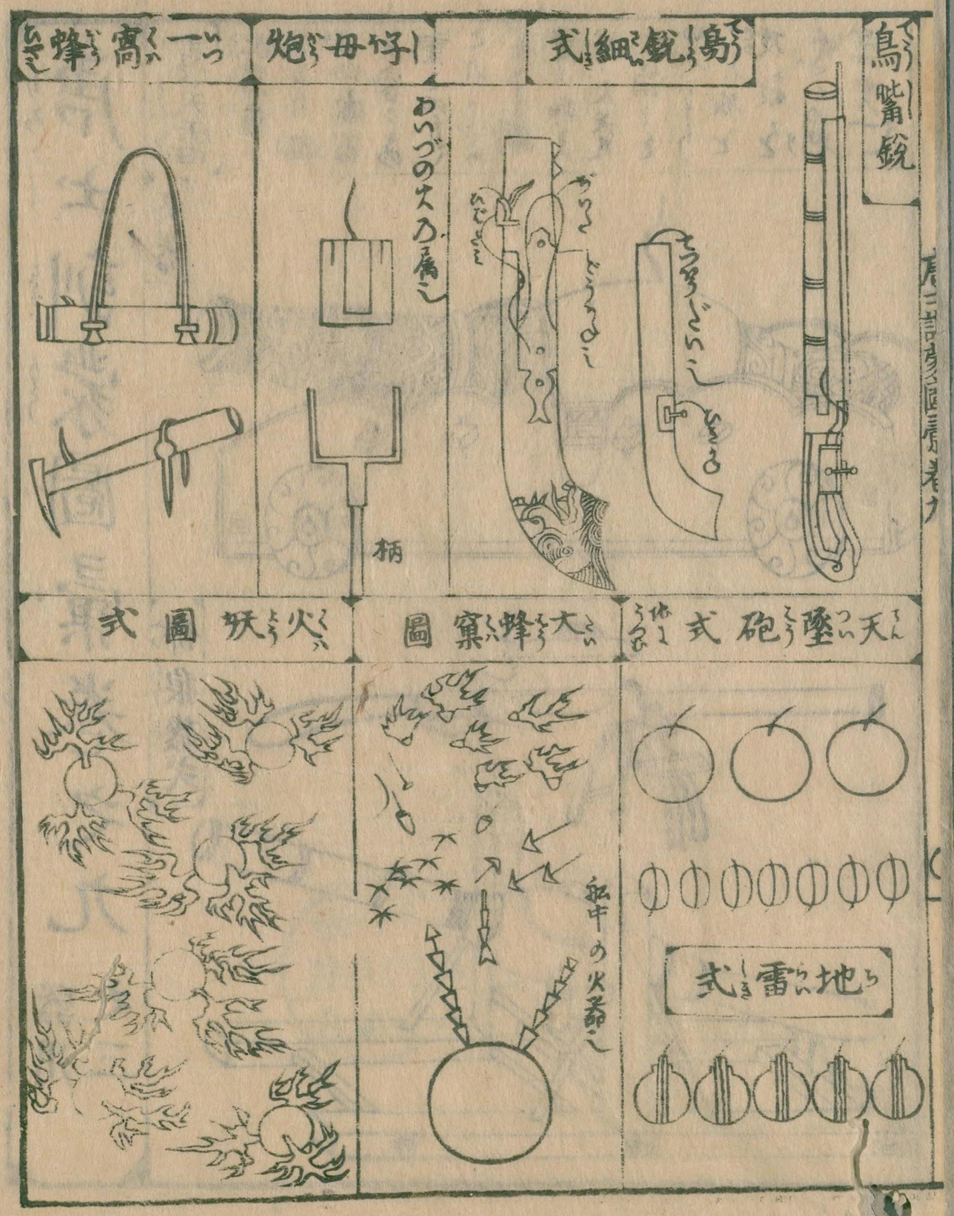
佛狼機式



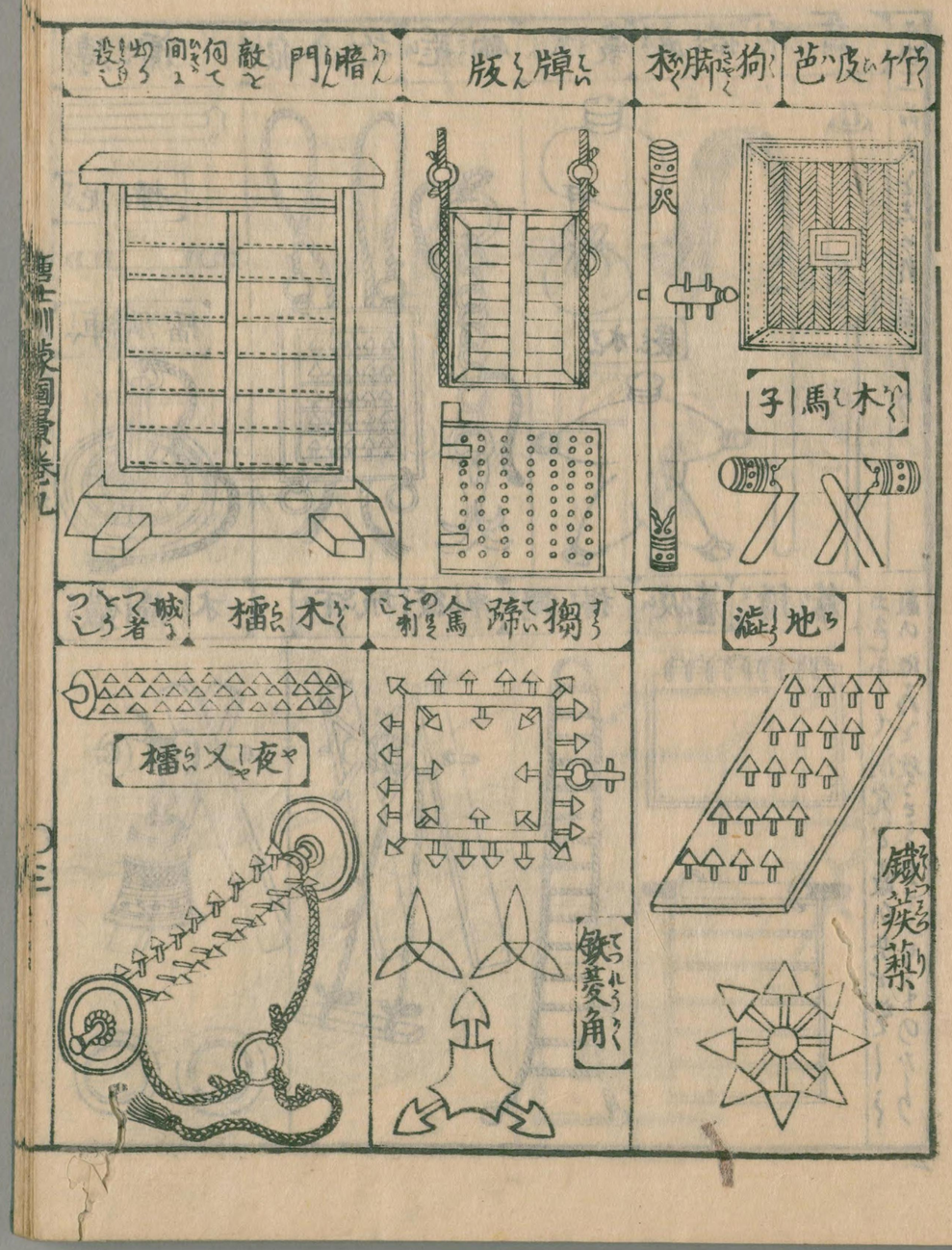
国立国会図書館
28.1.23
図書館
286354

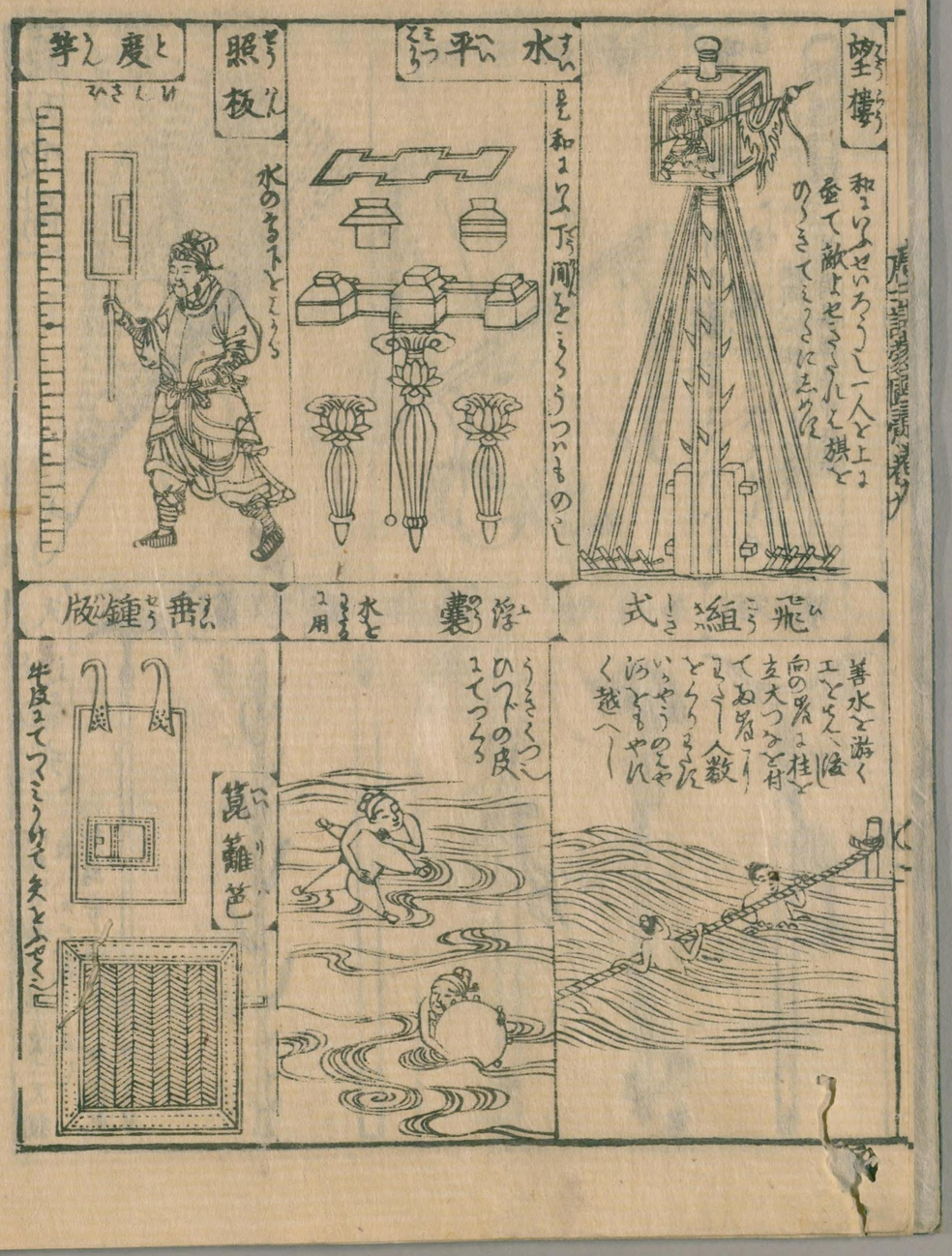
国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用



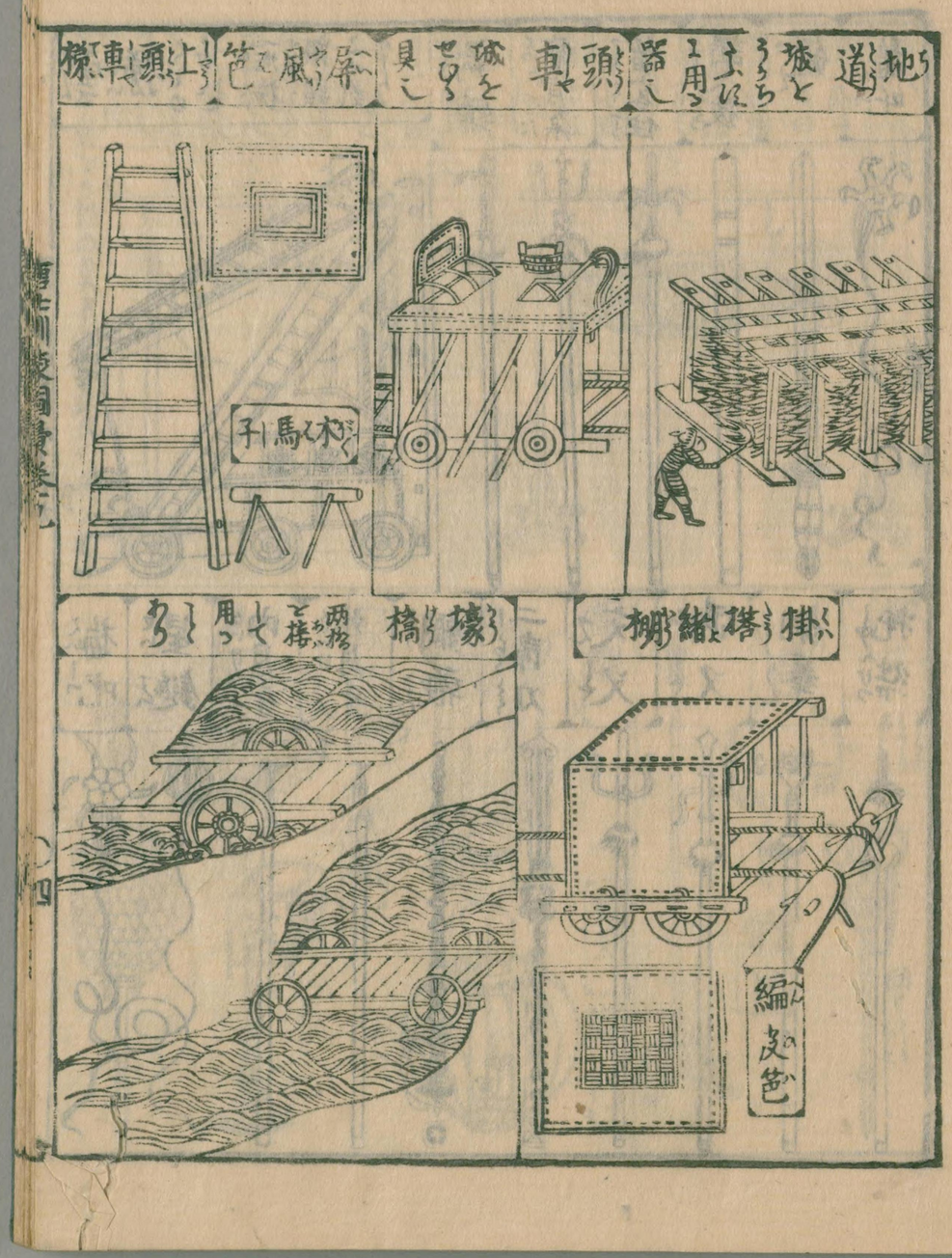


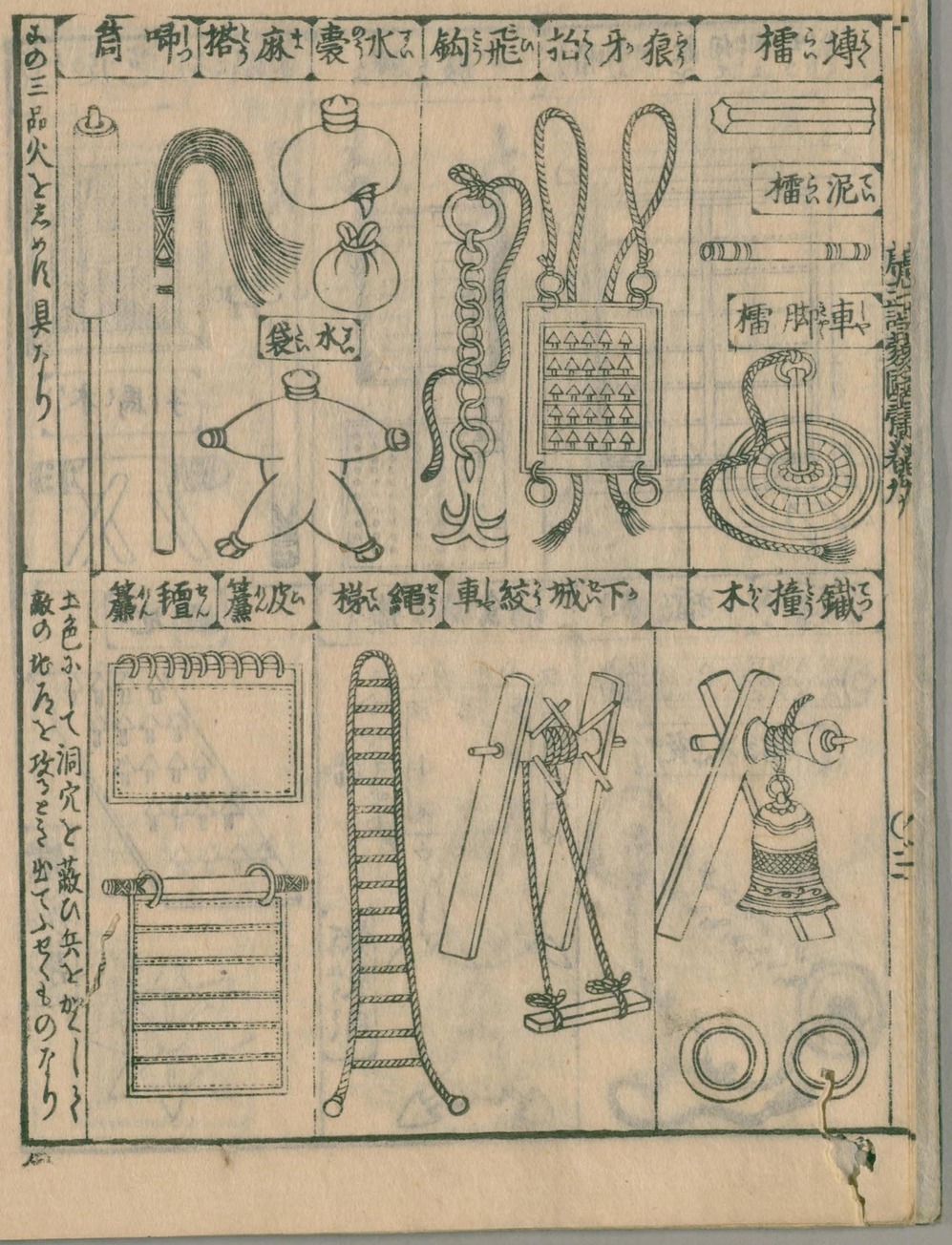
国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用





国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用





国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

雲梯（うんてい）
はしごのるい
飛梯（ひてい）
蹴頭（けりがしら）
この数（かず）あり

鉤鎌（こうれん）

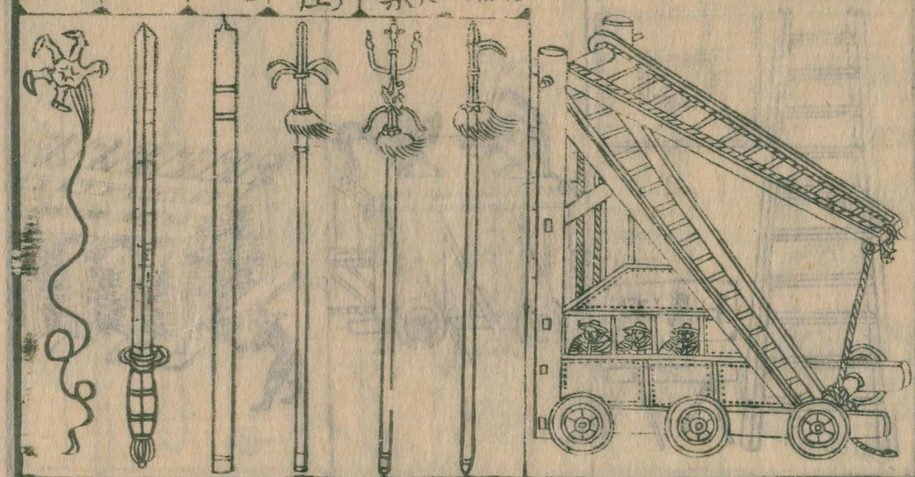
鐵蒺藜（てっしつり）

留客住（りゅうきゃくじゅう）

請人枝（しょうにんし）

鑌（ひん）

龍吒（りゅうた）



梅吒（ばいた）

星鎚（せいつい）

内月牙（うちげつが）

外月牙（そとげつが）

鋼鞭（こうべん）

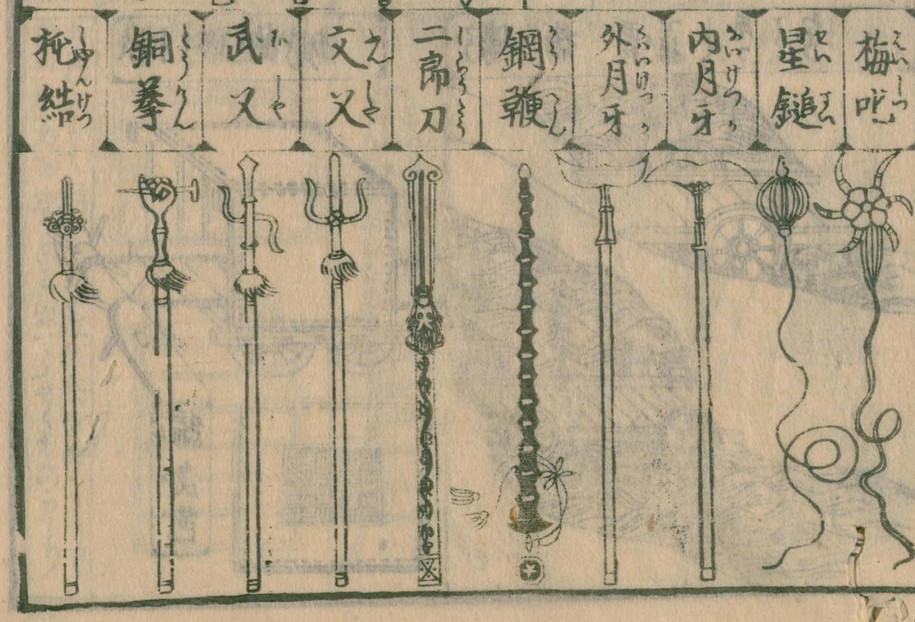
二郎刀（じろうとう）

文叉（もんさ）

武叉（ぶさ）

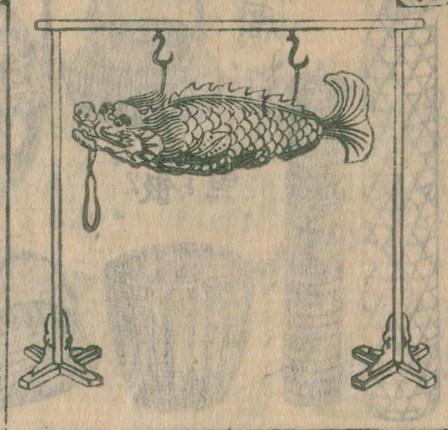
銅拳（どうけん）

拘絆（こうはん）



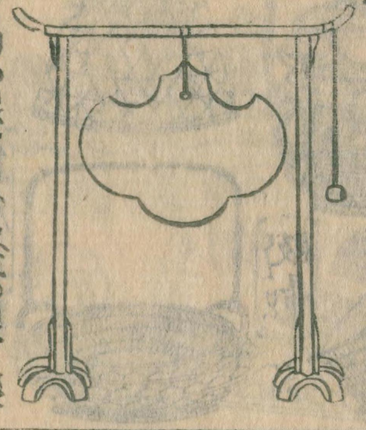
柳（りゅう）

柳ハ昴ヨリ柳ニ易ル曰重門擊柝以待暴客トイフ是ナリ或ハ木ヲ木ト擊テ更ヲ告ル者モ同

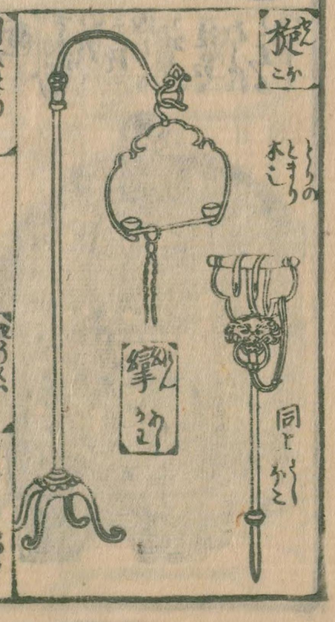


典鐘（てんしょう）

唐ハ典皆鐘ヲ擊ツ大史門ニ典鐘ヲ二百八十人擊編鐘ヲ掌ルコトシカリC柳典ハ持ヲ刻トシリノ異ナリ必衆民ノ具ニ非ス



擬宝珠（ぎぼし）

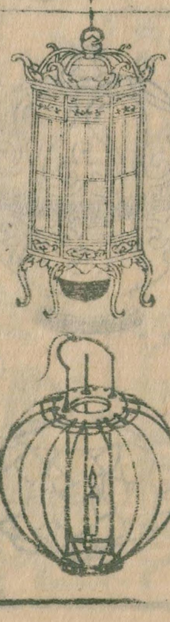


掌辺（てのへん）

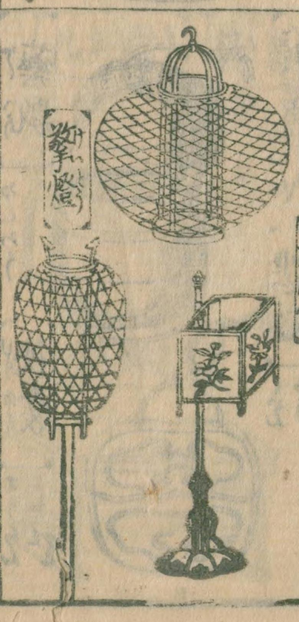
同ジカラト

書燈（しょとう）

蔦灯籠（つたとうろう）



掌燈（てもとあかり）

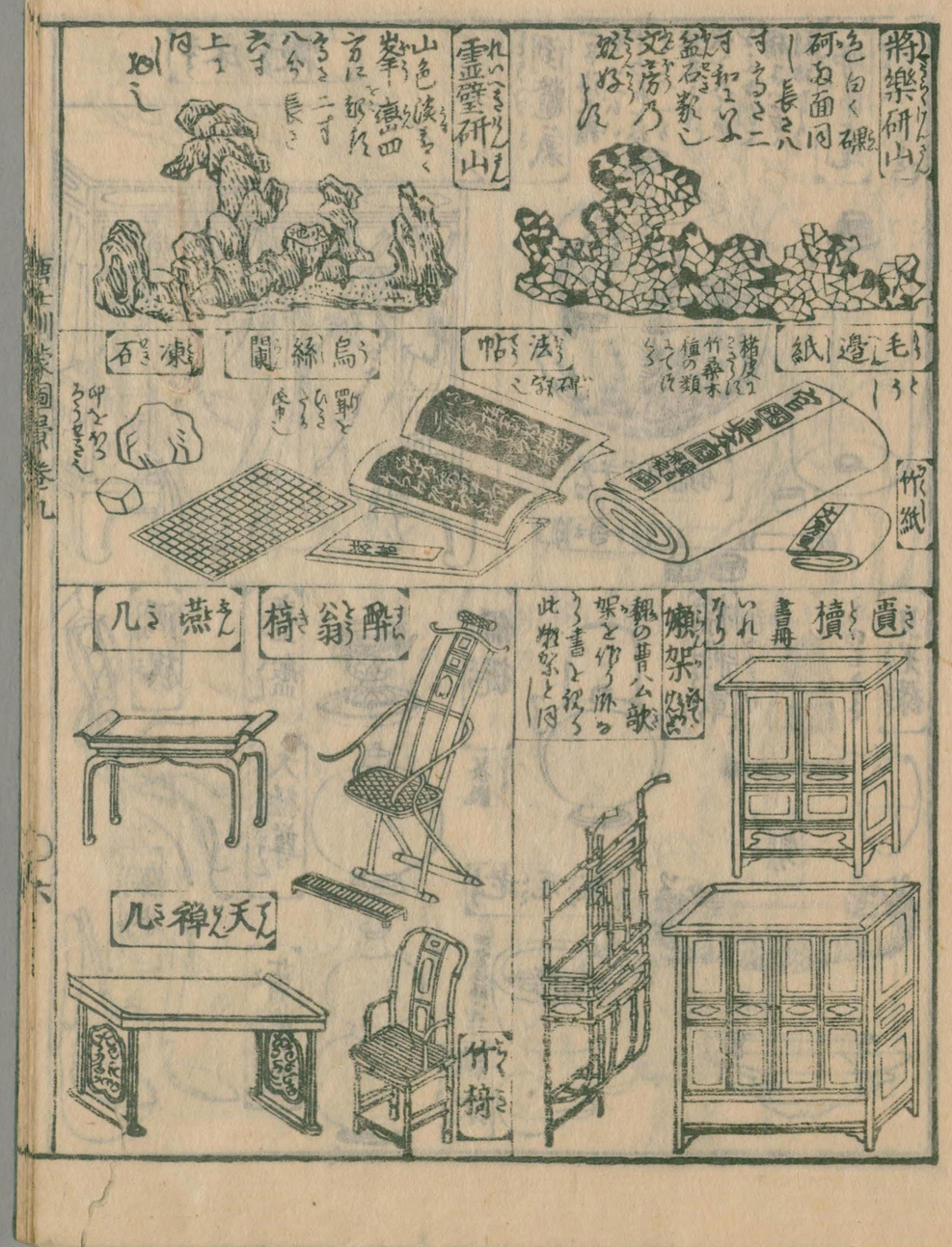


景燈（けいとう）

松心（まつしん）

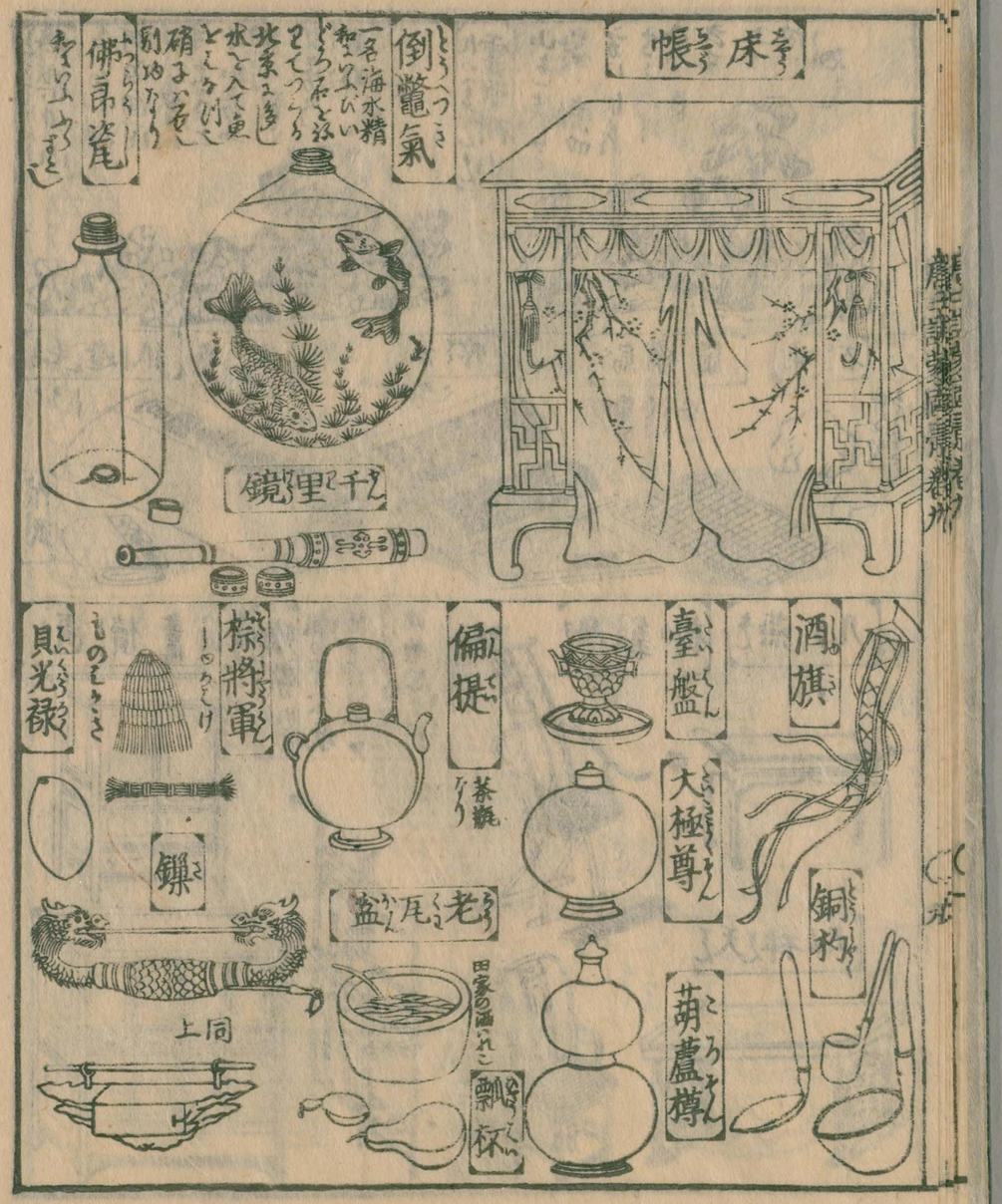
国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t

ガラス使用



將樂研山
靈璧研山
毛邊紙
法帖
烏絲闌
凍石
竹紙
燕几
醉翁椅
天禪几
竹椅

篝
梢箕
竹夫人
佳文席
飯器
飯帚
烏府
藥瓢
曲輪
列衣文
挾囊



国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

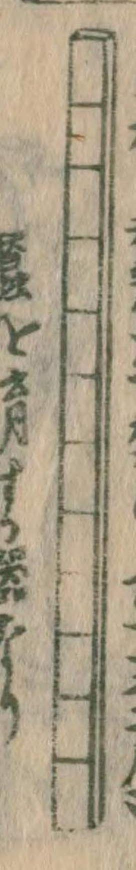
蠶槌(さんつい)

槌ハ植也 かひこのひらなどいるゝものなり

蠶椽(さんてん)

蠶槌ニ蠶箔を架ル長一丈二尺

蠶と五月すう架なり



蠶筐(さんきやう)

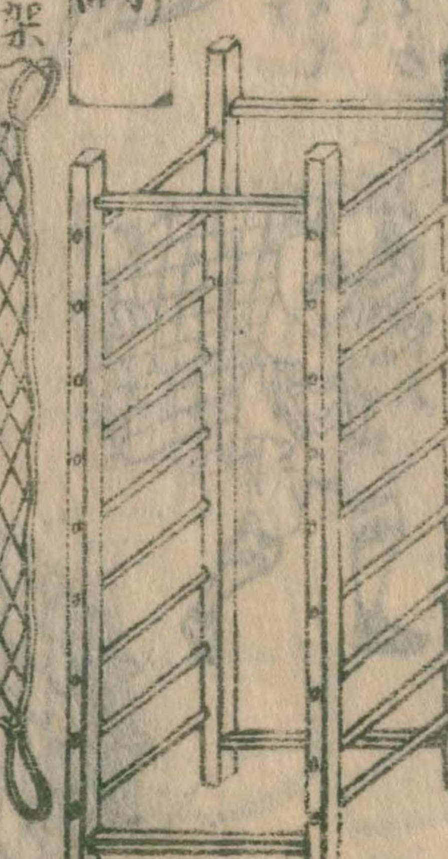
蠶杓(さんしやく)

桑の葉をこまかにきざみ入る器

蠶架(さんか)

蠶網(さんまう)

蠶網ハ別架につかひ 蠶の糞とをわくる網なり 桑を入て蠶をあげその上へ出て糞と分るなり



蠶箔(さんはく) すだれ

蠶槌にうくる すだれ

蠶槃(さんばん)

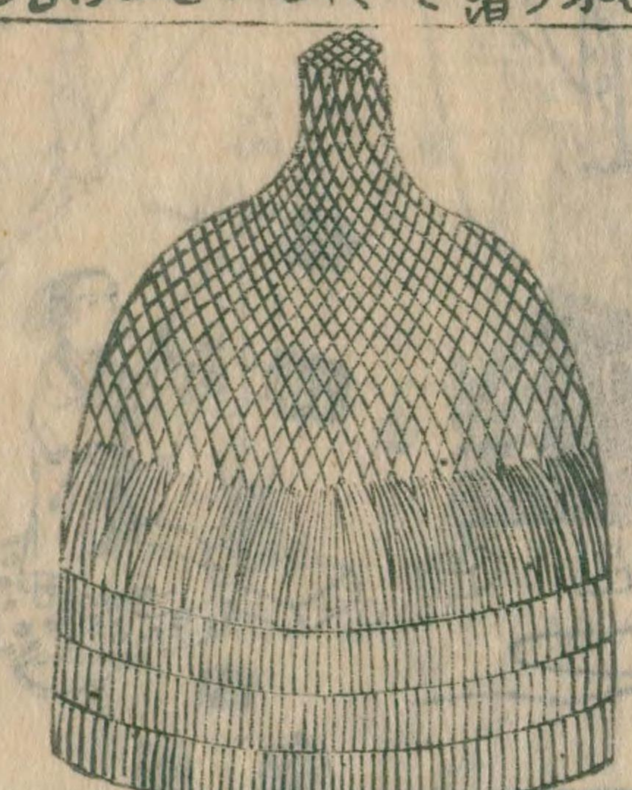
蠶槌の中間にうくる長七尺広さ五尺なり

繭甕(けんおう)

繭甕と訓ハうつはにいれ 塩を桐の葉とまぜ 繭を一重とし十斤に塩二両をまぜ 封して七日の後に糸をくるなり

蠶簇(さんそく)

蒿梢叢柴(くさのさきくさむらしば)などを以てつくり蠶箔のうへにたてゝ繭をつくらしむる所とす 圓亭のごとくにつくる 南北造やう南北のちがひあり 図は南方なり

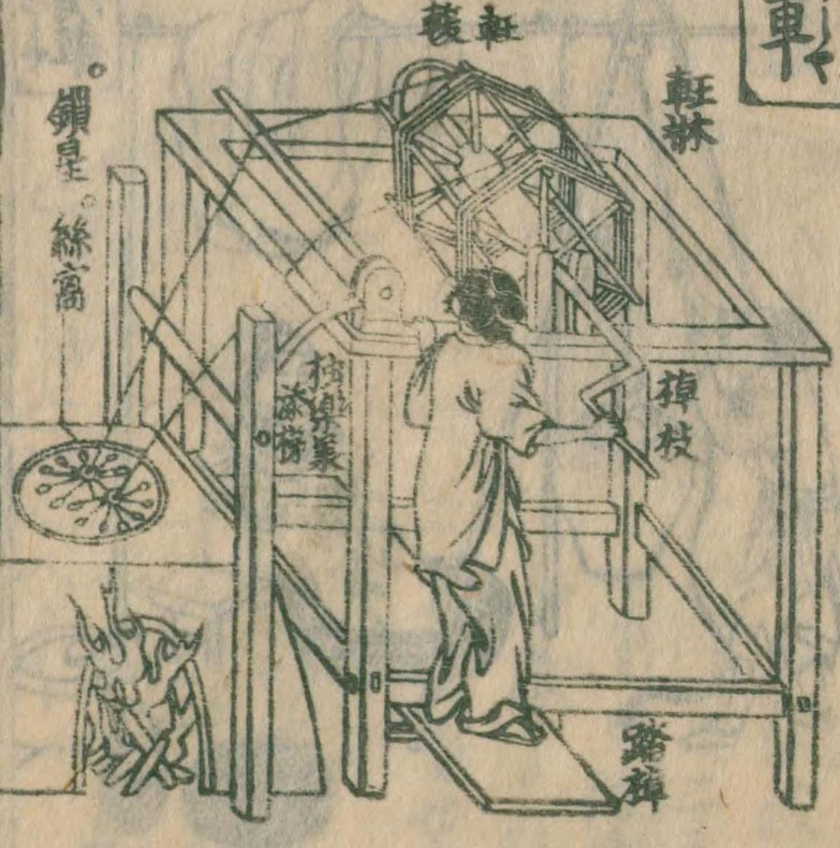


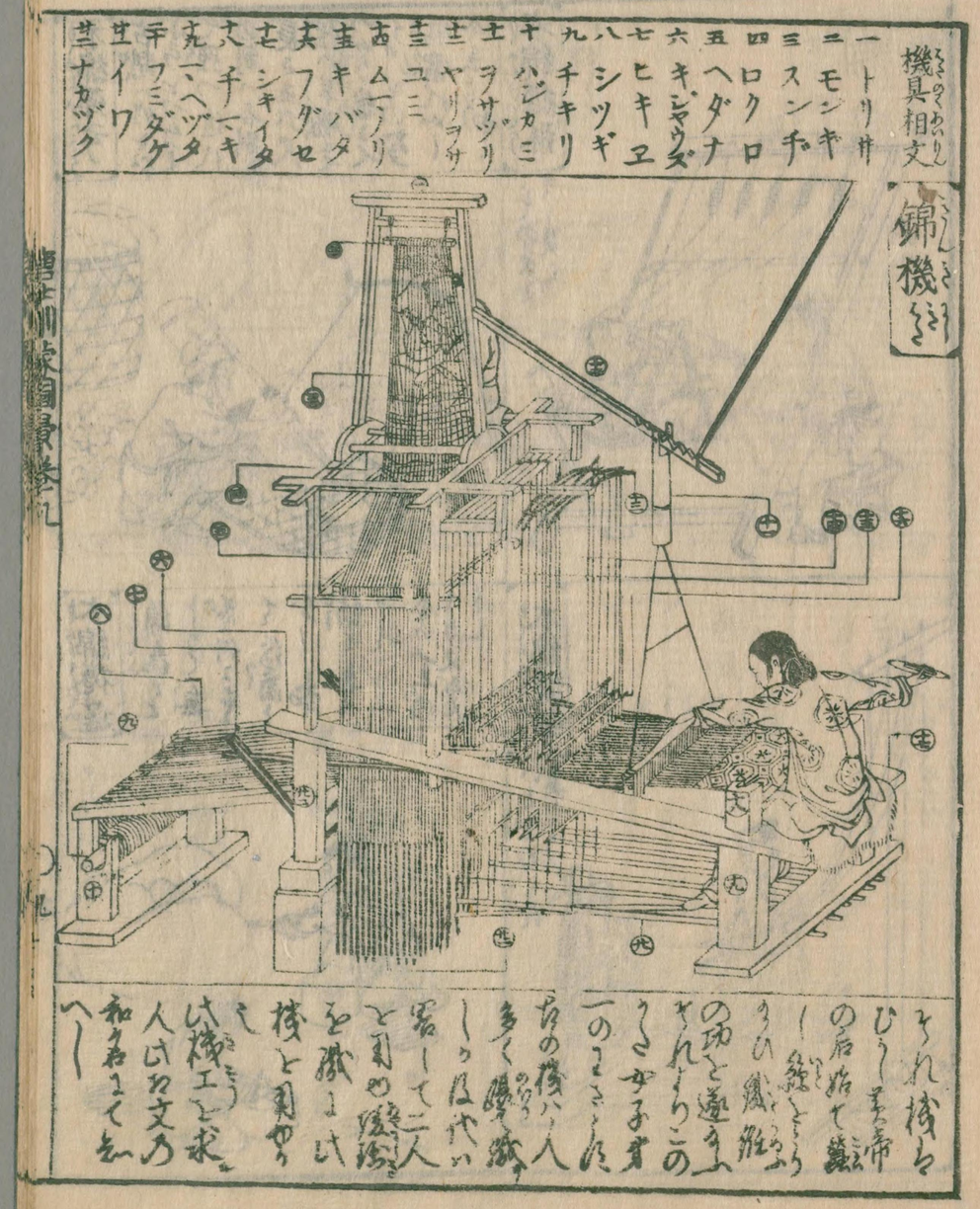
繭籠(けんろう)

繭籠は蒸籠にして繭をむして蛾を殺すなり

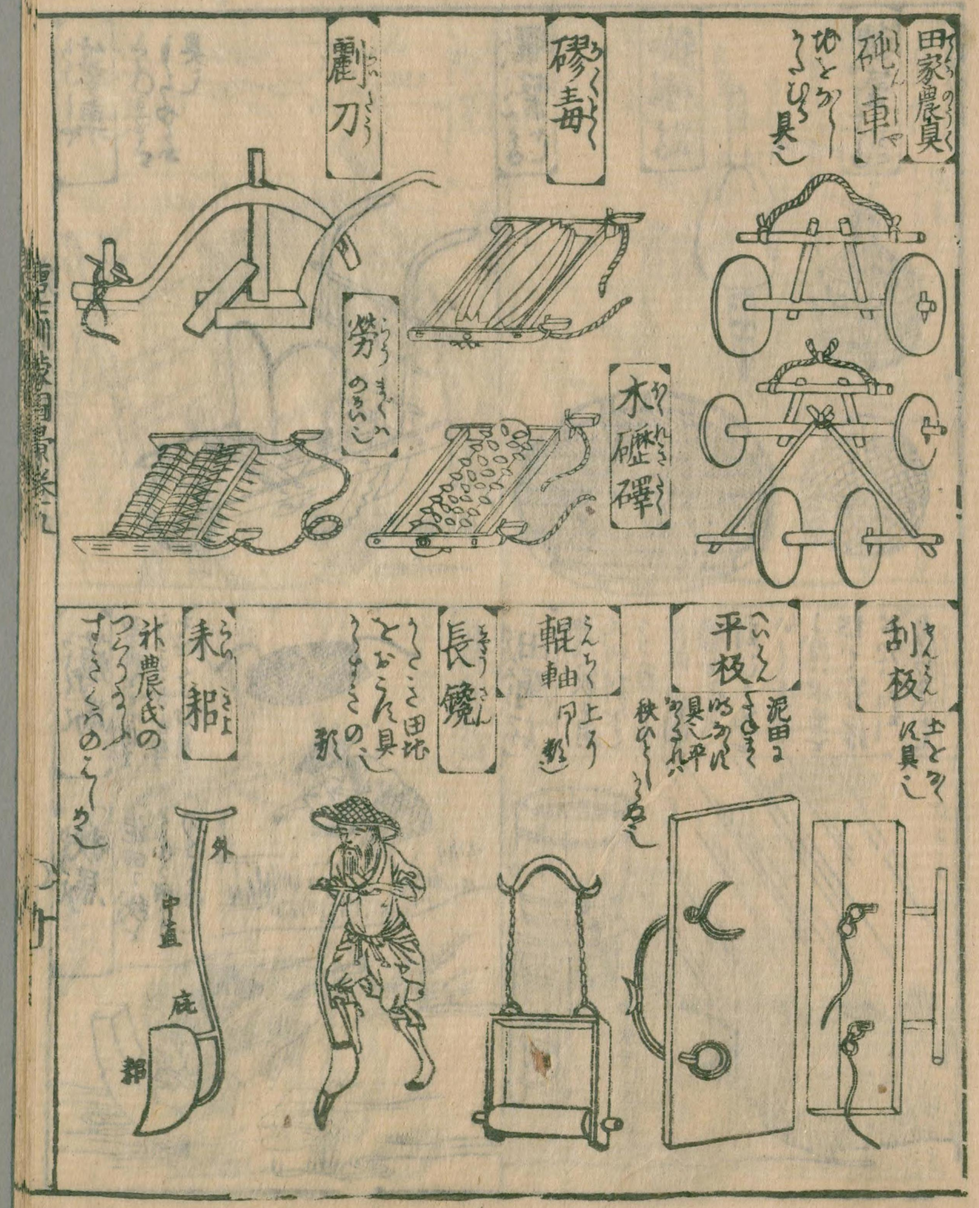
北繅車(ほくそうしや)

繰車に南北のちがひあり 南図ハ訓蒙図彙に出す故にこの図ハ北図をしるす

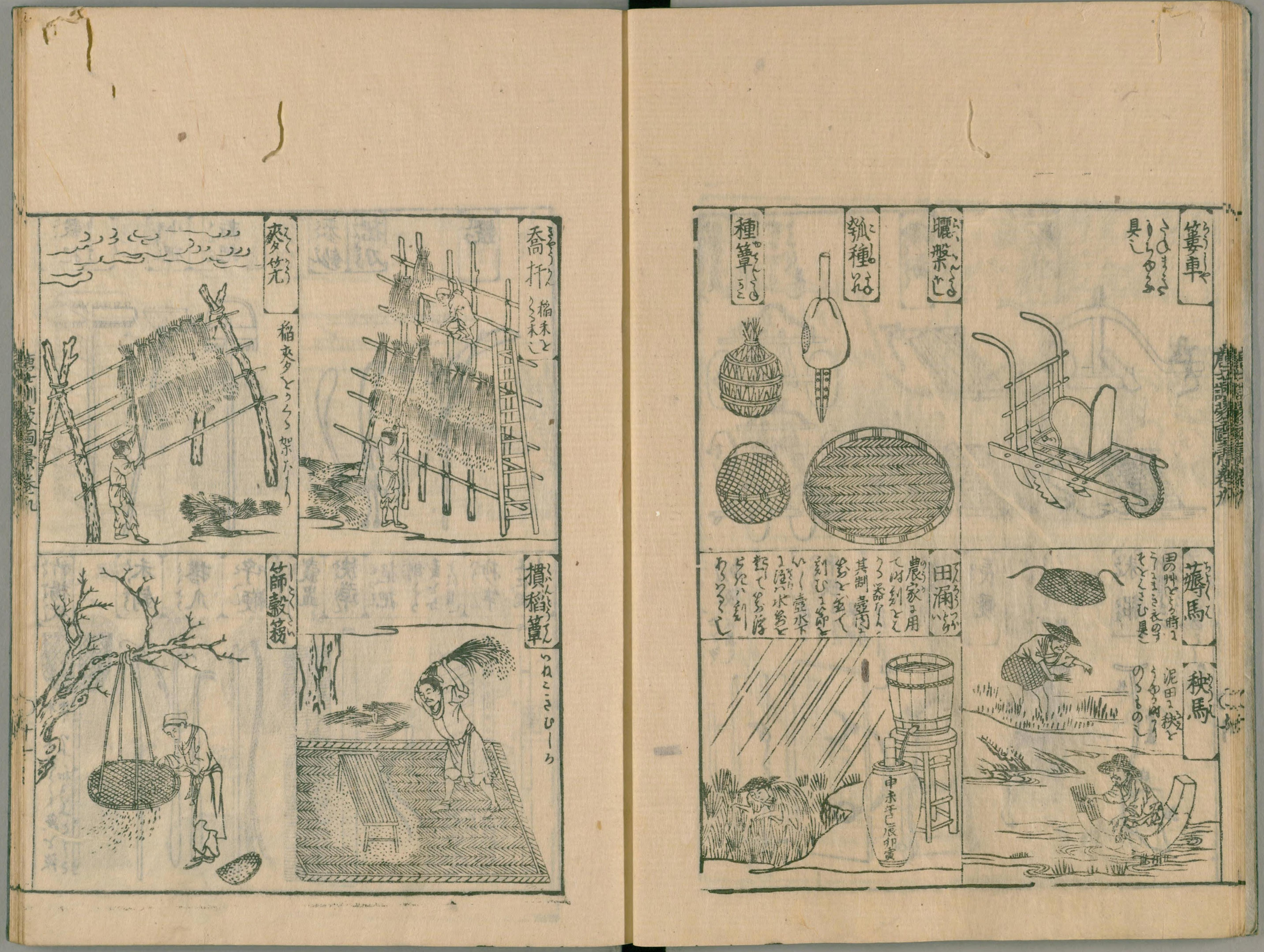




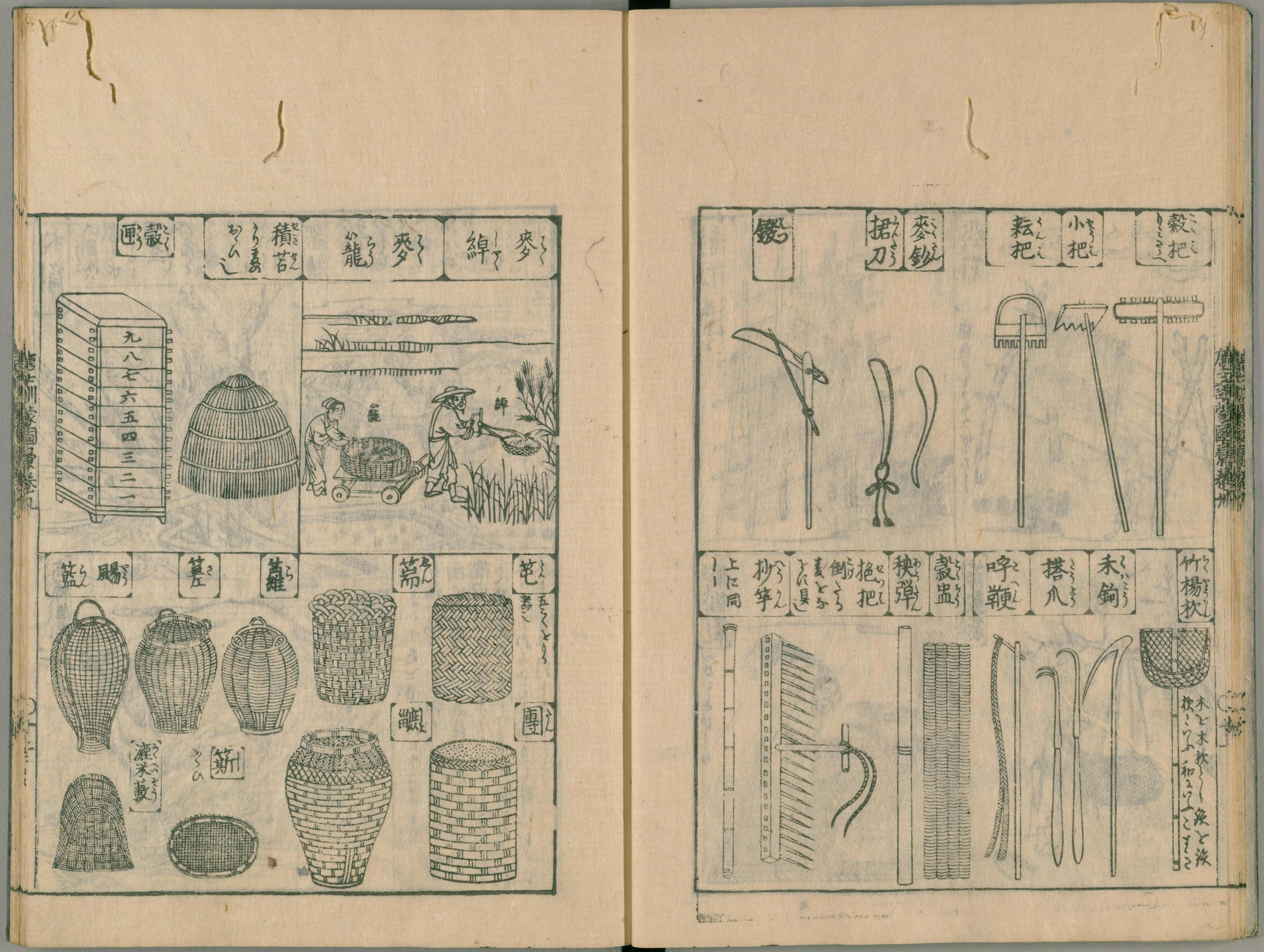
国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用



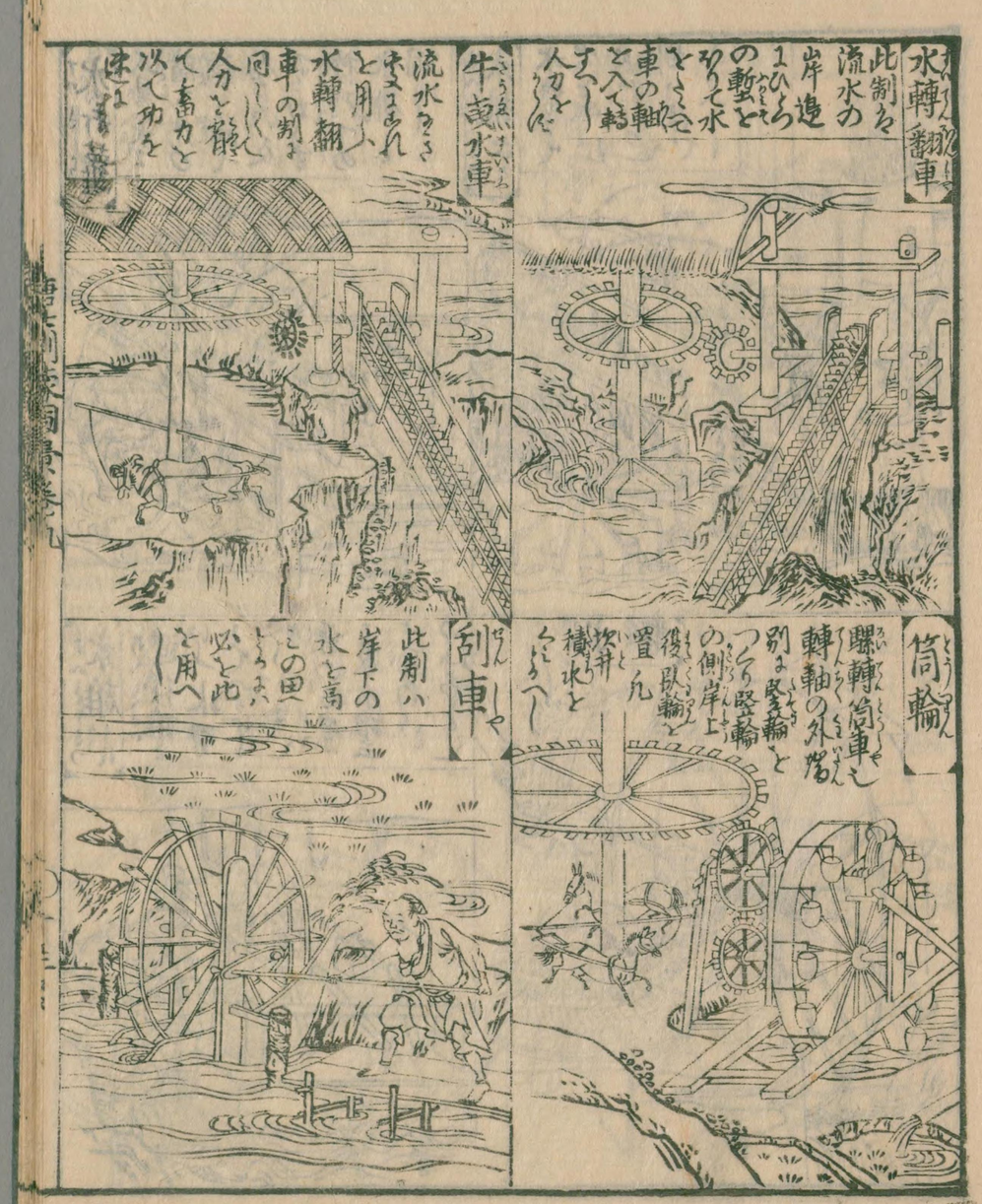
国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用



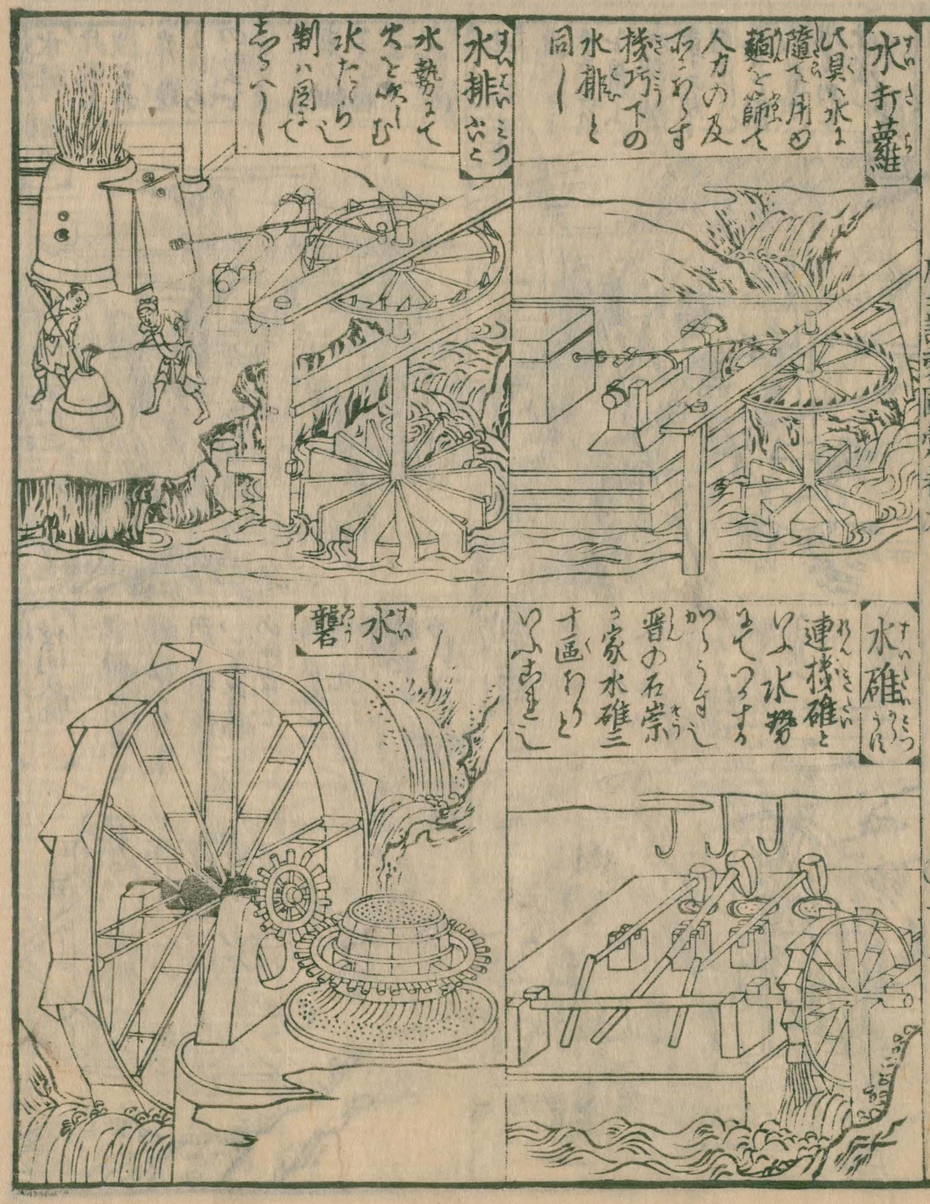
国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用



穀把
小把
耘把
麥鈔
捃刀
鍐
竹楊杴
禾鉤
搭爪
呼鞭
穀盅
秧彈
挹把
抄竿
上に同
麥綽
麥籠
積苫
穀匣
笆
篇
籬
簍
籃
團
籲
簖



国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

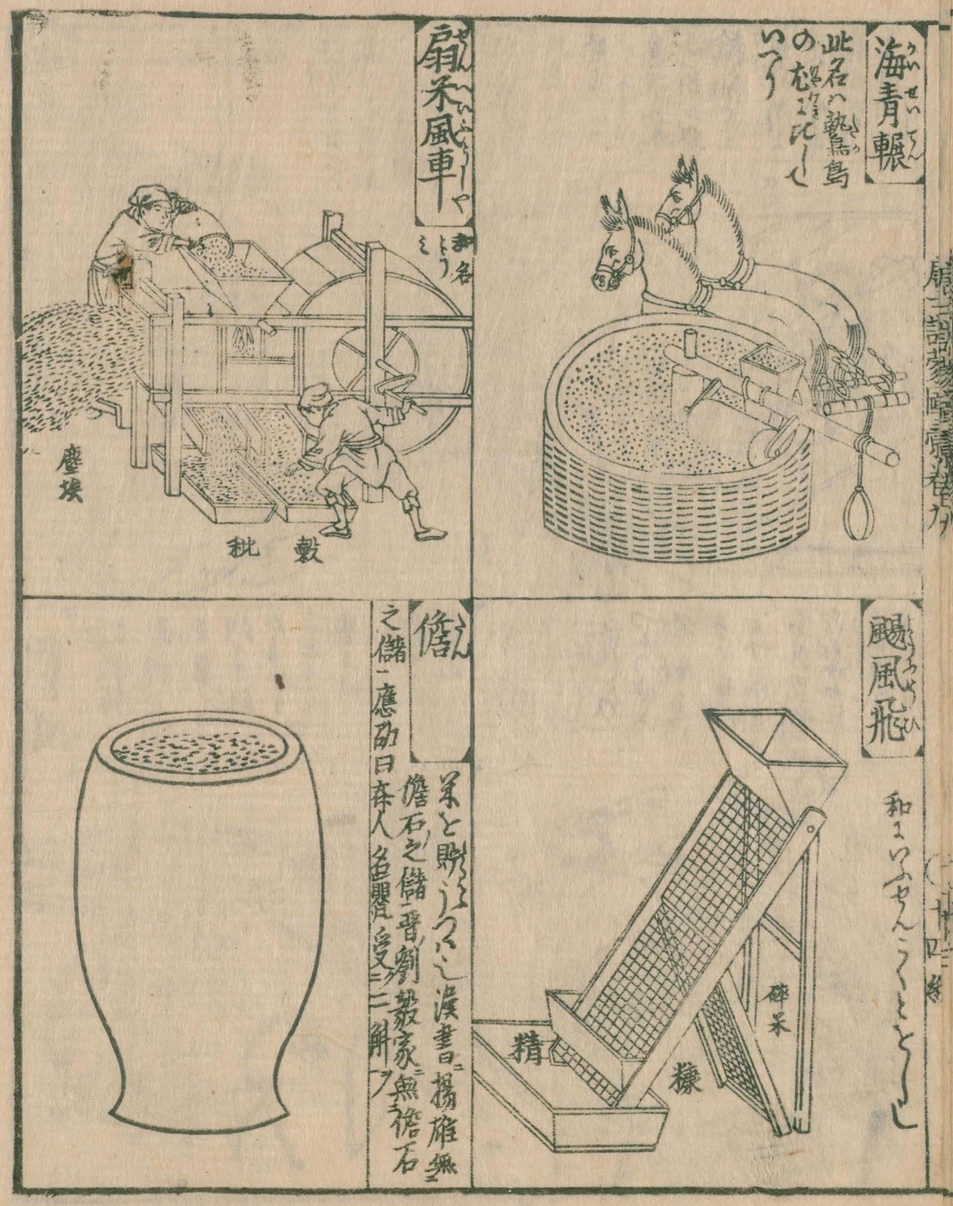


国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

唐土訓蒙圖彙卷之十

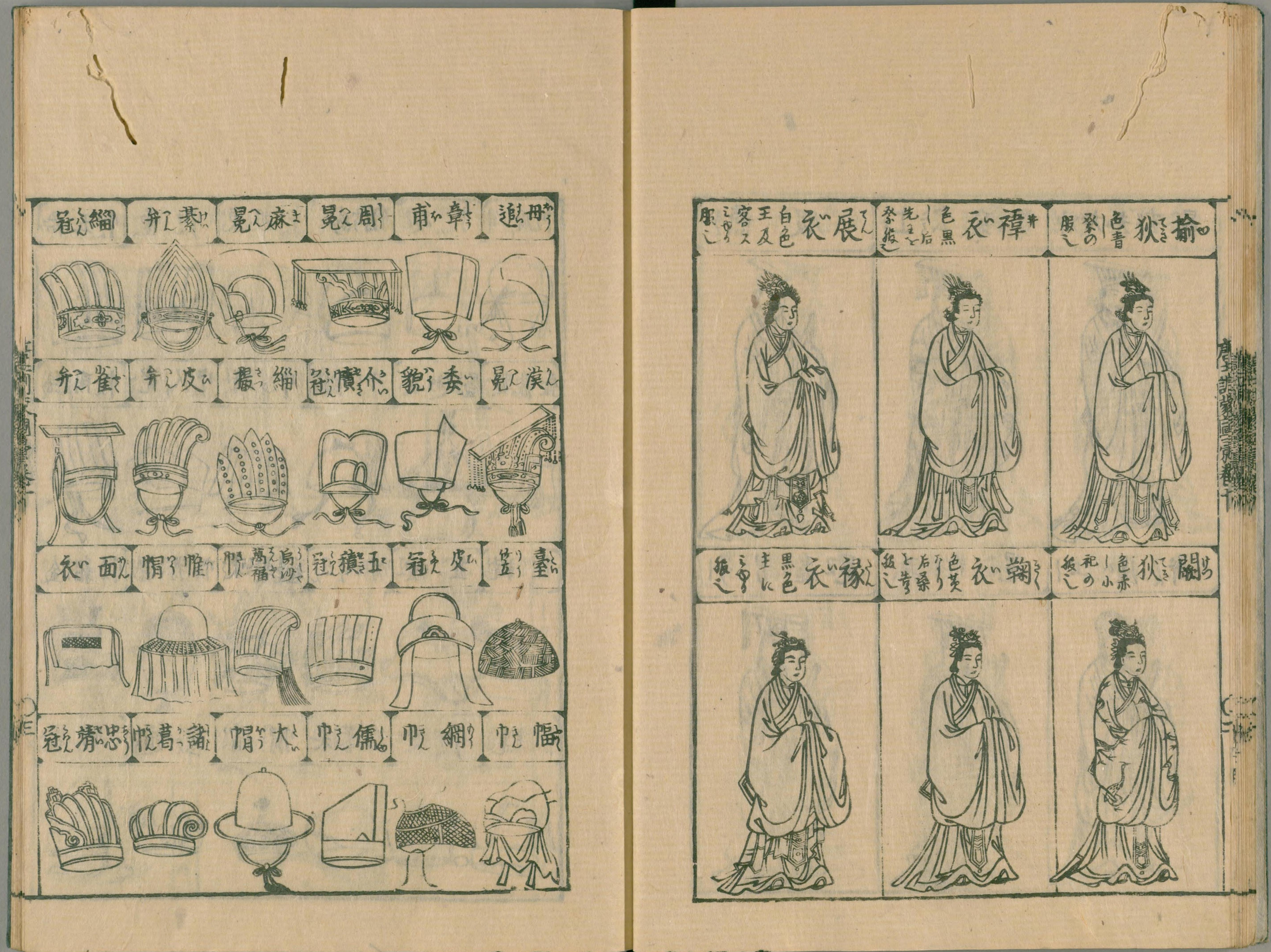
器用之四

衣服儀制珍寶

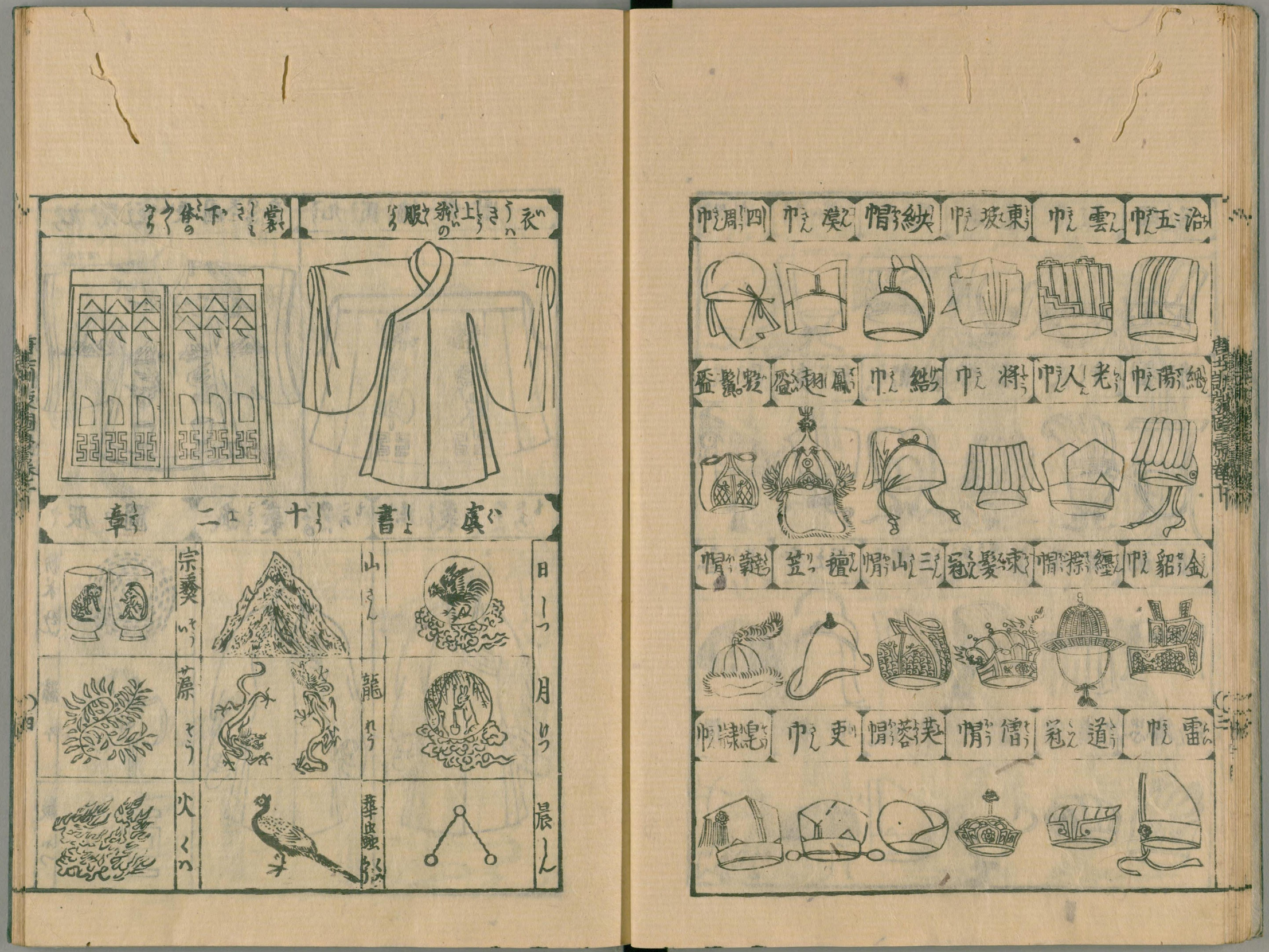


国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

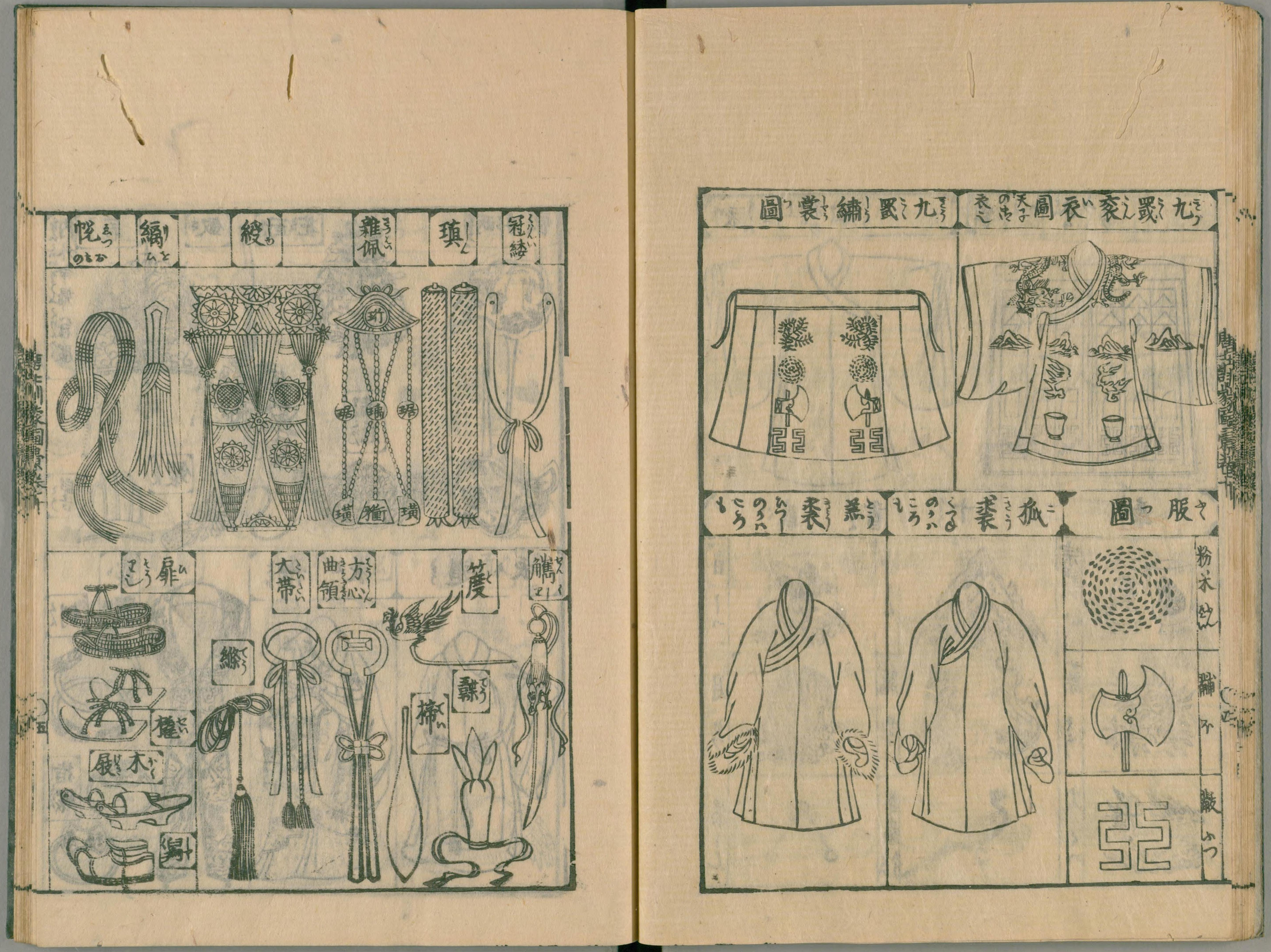
国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用



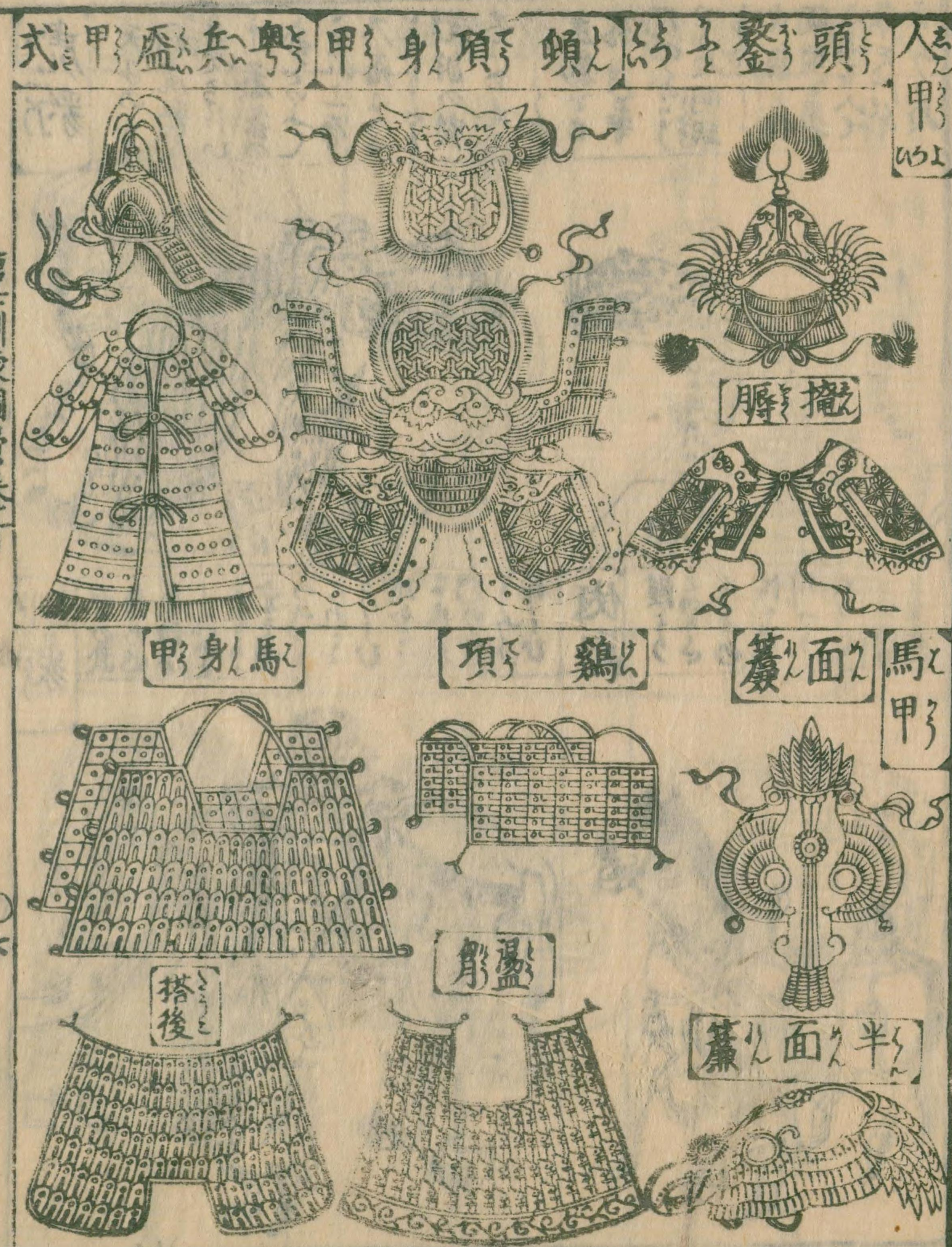
国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用



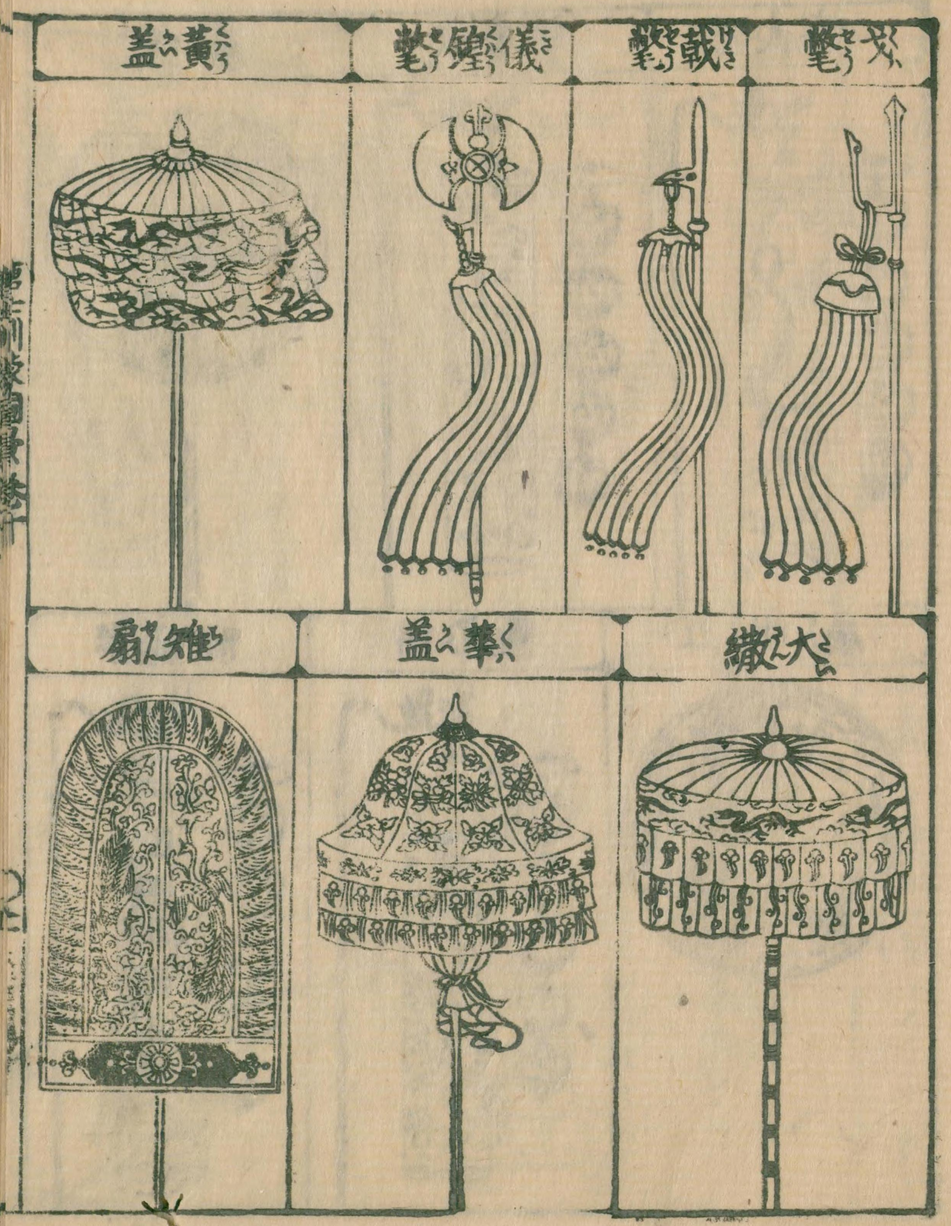
国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用



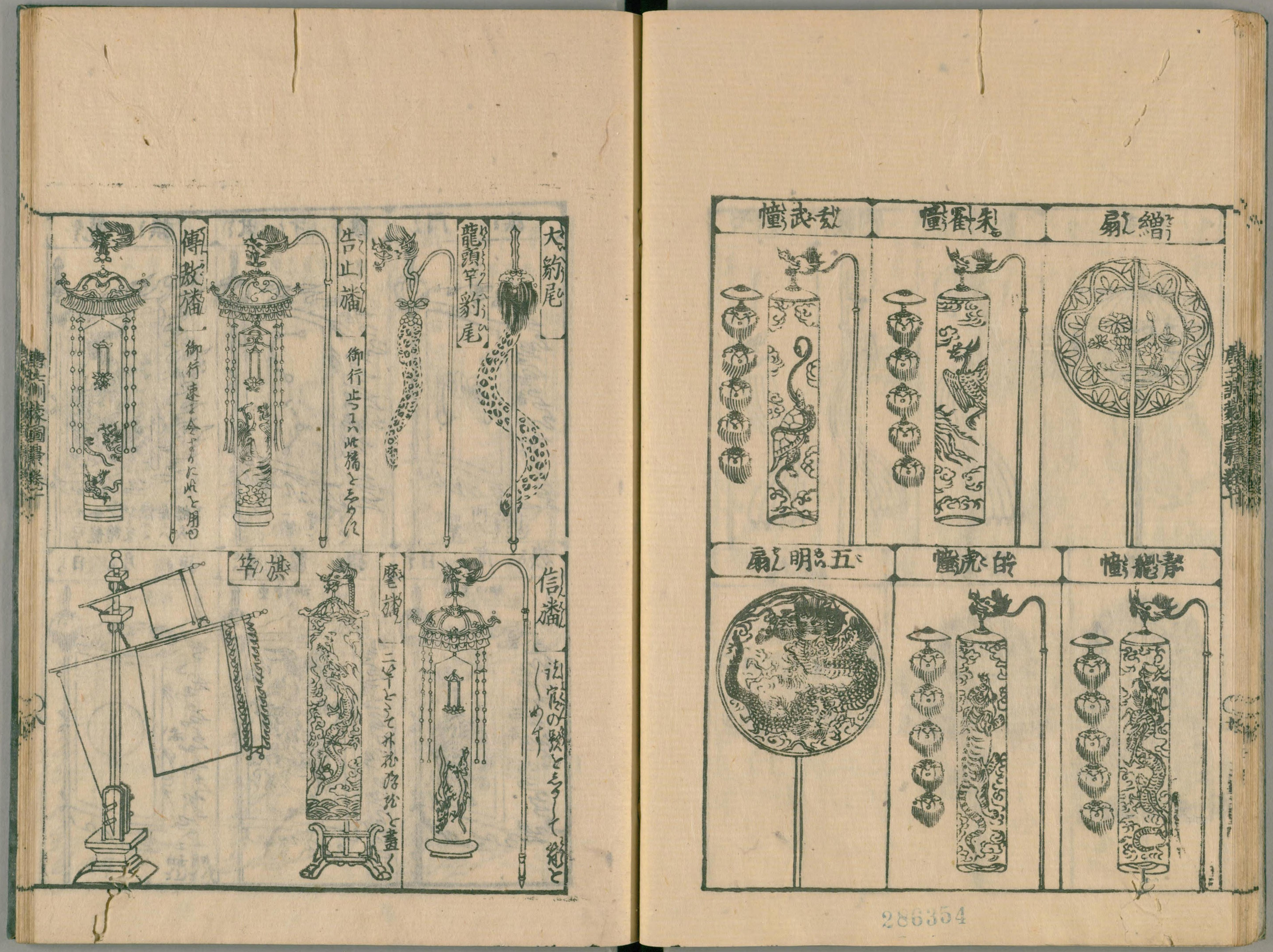
九罭衮衣圖
九罭繡裳圖
服圖
狐裘
羔裘



国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

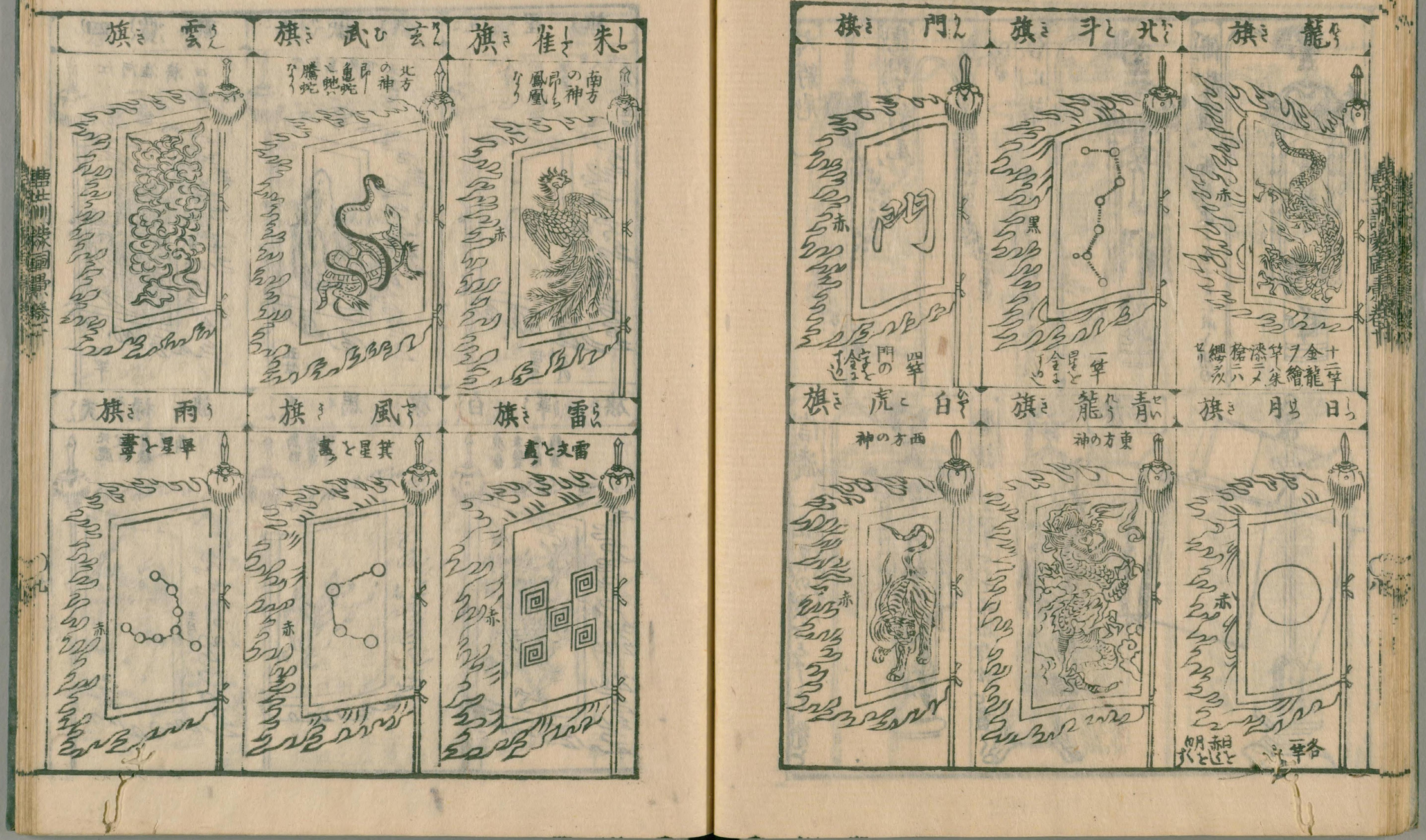


国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用



286354

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

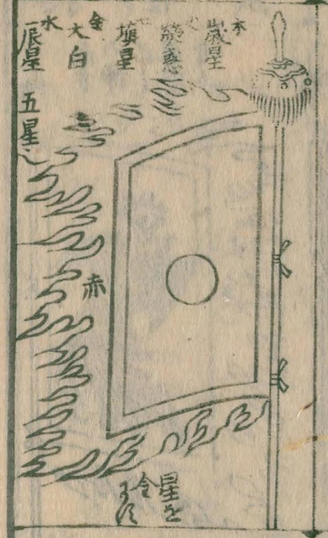


国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

四瀆旗

五嶽旗

五星旗



天祿旗

天馬旗

白澤旗

麟旗

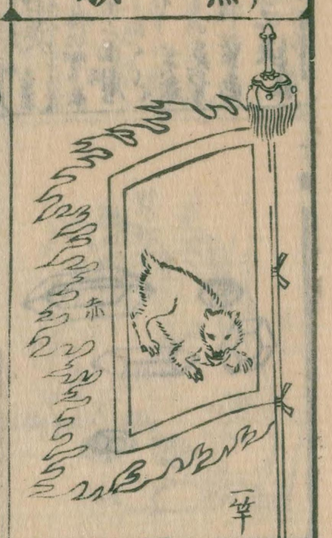
方相魌頭

方相者防喪氏也自黃帝始俗號險道神周礼有方相氏大喪先置及墓入壙以戈擊四隅歐方良故葬家以方相先馳宋朝喪葬令有方相魌頭之別啓是其品所當用而世以四目為方相兩目為魌頭按漢世逐疫用魌頭亦方相之比也

鸞旗

貔旗

熊旗



国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

珍寶

珊瑚僧

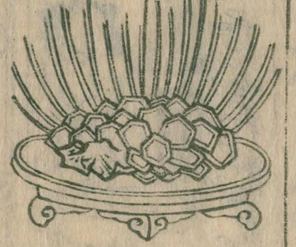
波斯國ノ山形黃ニ艷ヤカニシテ光沢ノ丸ノ感アリ

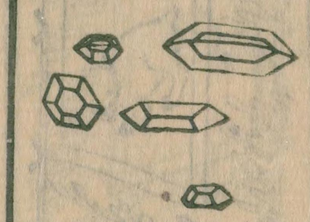
菩薩石

鐵冒山ニ出ル白中ニ黒ト赤ヲ帶ビ照ハ輝ク圓キ塊ノ如クニシテ數ヲ疊ネタルガ如シ

白石英

大サ指ノ頭ノ如ク三稜ニシテ六面鏡ノ如クニ白ク光アリ又一種紫色ノ英アリ又一種黄色ノ英アリ





石膏月實石

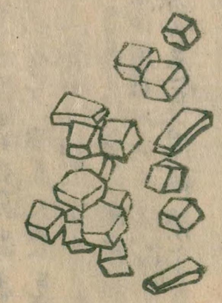
軟硬ノ二種アリ

理石

理石ハ石膏ノ一種ニテ硬ノモノヲ理石トス

方解石

長石ノ塊ノ如クシテ六稜アリ方石ヨリ大ナルモノニシテ石膏ノ塊ノ如シ



木成木

色白クシテ塊ノ如シ移植木ノ如シ又一種膠ノ如クニシテ堅ク黒ク光アリ

無名異

石ノ如キモノニシテ狀黒石炭ノ如シ土ト以錬ルト黄ノ如シ○水邊ニアルモノハ多シ

井泉石

饒陽郡又深沢城東ニ出ル此ノ如キ大小ノ石ヲ以テ圍ミ方ヲ爲ス

蜜栗子

無名異ノ類狀栗ノ如シ剥ケ上ル金光アリ

石鍾乳

石ノ津液ノ凝リテ乳ノ如キモノ乳ト云フ滴液石ヲ成ス○水邊ニアリ

土骰蘑

石ノ乳ノ凝リテ土ニ生ズ形モ乳ノ如シ土ノ脳液ナリ

禹餘糧

形牛黄ノ如ク中ニ黄ノ細末アリ蒲黄ノ如シ沢ノ山谷ヨリ出ヅ

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t

ガラス使用

空青月
雲母石と一物
なれども今の
俗にかくいふ
○乾漆をみがく
のにもちゆ
るなり

礬石
毒石にして殺虫
わるし白礬石
蒼礬・紫礬
紅礬・桃花・
金精・銀精
特生礬・倶よ
これ一物なり
炮製をとかく
とりどり

金牙石
蜀漆ようのる
ものこれ金色
石のごとくそ
なりかた

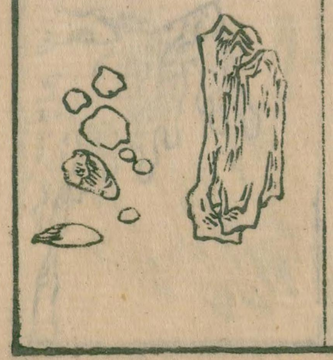
波斯安石
海南土山あり
五色偉峙
その石光潤を
放ちそのかたち
雲のごとく
時々五彩の
光焔あり
水湧れいの形状
波濤の如し

青磁石
青白二種あり
青きをよしと
する中に星
あるし

花乳石
薄石くさ
あり研ぐ
るべし

白羊石
沈と似てち
白膩をよしと
す

金剛石
色青天竺に
出つぶつぶの
ごとく
金剛と
名づく
光あり



薑石
土石の雨ふる
ところに出る
のごとく

麥飯石
麥飯を
ふるごとく
なり

水中白石
水中にあり
て光潤
ありうるんを
月へ
とぬり

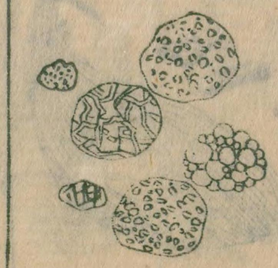
石蕗
葉ふきにして
文ありうるわく

石解蚓
蟹ふきにして
文ありうるわく
蟹ふきに
ふるし寒ふゆ
今で蟹のごと
といふ

石蛇
石間にすむ
くて蛇のごと
肉空にあり
肉をとれば
とぐろをまく
ごとし
石蠶も同
断

石蛇黄
嶺南ふる所
蛇蠶すむ時
ふるむまこれ
いでくるなり

霹靂礎
雷震のあと
とりれこれを
うるふ谷の
如く
擬のごとく
あり
和の国にも出
るもあり
出ればその所
を出ず



国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

礪砂

消和の數しらず人くらして凍死ぬるを鹽の徳ぞとこくと白こうのごとし

凝水石

色ハ雲母のやうなり。性の寒谷のほとり山谷のほとり生ず。折て水に入るに水と色の同くなるをよしとす。

當門子

そのくち麻のあぶらのごとくつくくとまりてもこぼれず。莢ごとをひたすにまりくちを去りて

井鹽

塩ハりくあるを煮てさだめるものなれども井ばかりいうるものあり。井の鹵をとりくうれどとも製練しくつくよのごとし。和るも塩井ありとぞ

池鹽

河東安邑西夏等の地に出る池の塩しおの鹵地をつくりて日をへて塩水をそゝぎ入れ夏ハ風秋の初南風ふきて塩とるべし

石鹽

胡地よりいづるの塩ありいつるやうあり土よりいづるの塩ありいつるやう其ふるよりおのづから塩を生じ海ハあらずして天生し海遠のごとし

石炭

山とうちてとるをよしとす。○おゝむね西北又中國多し。山のこゝに非ざる土をほりてとる。皆色くろくして○藥屋これと誤て乾漆と称して專ら賣ぬ。

牛黄

牛の黄ある者身上夜光あり眼血のごとし。又鳴呼又好て水とてひん人血水とうくをよくをよく喰ふ。

熊膽

熊獣ころの膽われ〳〵功及ものかし。

胡國の硝

山坂の陰ニ生ずるあり。

我鹽

一種うして收斂の如し

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t

ガラス使用

唐土訓蒙圖彙巻之十一

草木 此部より山石 芳蘭までの數ともに六十

蓍

和名 めどぎ

生蒿のごとくにして 高さ二三尺より四五尺 莖ところ〴〵に枝を出す 秋もくさ 白き花多くさきて 實ハ 莖と共に 黒し

鉄掃箒

和名 あらの

神草なり 中にまじり一本二三十莖化み生ずる ハドソ 二三尺にも高く 首揃りて 側より枝出てなびくさまをなす

蓍草 二ヲキルトキハ

吉祥草

和名 水士

石上に拘られども 根へ〳〵と 土を得ると 生ひ 莖短く 葉ハ 蘭に似て 厚く 冬も凋まず 中心一莖 暁茸を生ず

美人蕉

和名 ばせを

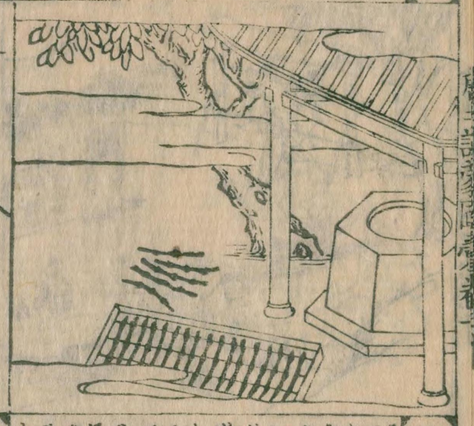
葉蘆に似 莖も 蓮に似て 高さ四五尺 中心一莖 暁茸を生ず

臈井

鄆公阿膠 城北の井水と汲て 煮つゞめ 真臈とす 最上品なり 真臈とハ 黄明臈ハ半皮と汲てつくる 清くてうすきものと 上とす

尖井

蜀の臨邛多くその水を 卓文君 相如等 ○なお紙数多きゆえ一部省略



油井

石脂油ともいう水より重くて 色黒く 粘りあり 燃ゆること 油のごとし 所〻より出ず ○かの国人 越後国より出て 草水の清きを 取て 油を 製す 乃ち 油池 油井 油の 樋 油の 穴を 掘て 水と 油と 汲出し ヲランタの 油 これなり

花紋石

南平県より出 色黒く して 文 まハり 山水禽 魚の状あり ○なお 石の 紋多し 然ハ 木の のごとく 或ハ 人 物 鳥 獣の状 あるを 貴む 故に 石の 紋 なり

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t

ガラス使用

黄精　三月苗生高二三尺葉竹の如くして互ひあひ對ひ又ハ輪生ひらくみ黍のやく根生姜のごく

和名ナルコユリ

萎蕤　葉せゞくしてもく表白く裏まろし莖竹の如く葉の間ニ花をひらく沙參のごとく實を結ぶ

和名カラスユリ

柴胡　苗生して甚香し莖まろくして葉竹ニ似ひらく又萬に似て短ものなり

黄耆　叢生高一尺ゝら又ハ莖なくして葉細長くあたゝ對ニ六月ごろと開く根朝鮮人參のごとし

天麻　苗の初て生ずるまゝのごとし獨莖を抽て直よく高二三尺箭幹の如くにして節ごとに葉ありて枝なし

和名スズヒトノアシ

薺苨　苗莖葉ともに人參に似て葉小く根異し結梗根ニ似て又白汁なし

和名シロツリカネ

黄蓍　葉槐葉ニ似てやゝ長くふちとがりとひらく小蘭をひとし又蕨の如くして人參ニ似ひらく根の色さゝ二三尺

人參　春苗と生ずて三四月花さく紅小し紫白色秋ニいたりて實をむすぶ根人の形と神し

玄參　春苗と生ずる莖ふし色まろくして七月花を開くも花色しれ八月實を結ぶ實色し

沙參　苗生して二三尺叢生ス一莖壁の間にあり葉枸杞に似て又牙あり七月花をひらく風ニ

和名ツリカネソウ又トキニンジン

丹參　苗生して高一尺ゝら莖幹方稜う蔭荷のごとくして毛あり三月花とひらくあかき色ありて

紫參　苗長して二三尺莖まろく細葉槐ニ似又羊蹄ニ似ありもあり五月ごろ開て白ゝみある

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t

ガラス使用

拳参 葉ハ羊蹄ニ似て根ハ海鰕に似て匠し

杏参 根ハ小薺根ニ似たり

茸草 苗生じて高一二尺葉槐の如く七月紫花を開く奈に似たり子を結て角子をなせり

知母 四月青花を開く韮花の如し八月実をむすぶ根黄色菖蒲に似て柔潤し

貝母 葉ハ蕎麦に似て七月花を開く黄白色根貝子をあつむるが如し故に名つく數種あり

前胡 表苗を生じ青白色蒿ニ似たり初めて出る時白芽長三四寸甚香美し一種紫胡と當帰ニ似たるあり

升麻 苗生じて高二三尺許葉麻に似て三尼月ニ花をひらく白く実あり大小二種あり小ハ園中にうゑてよし

徐長卿 苗の高さ二三尺葉柳ニ似て細く尖る小花をひらきて尖角児をむすぶ根細辛ニ似て香気も同じ

淫羊藿 葉ハ杏ニ似て上ニ刺あつて粟稈の如し根ハ紫き四月白花をひらく又紫花もあり

貫衆 苗生じて赤く葉大さ蕨のごとし茎幹三稜葉緑色小鶏の翅に似たり

仙茅 葉ハ芽の如く軟らに復精微し面に縦理あり三月花開て梔子の如し実をむすぶ

白頭翁 苗生じて状白薇のごとく長して茎端に白毛あり根のきはに白茸ありて白頭の老翁に似たり

白前 苗ハ細辛に似て大に色白く折易し赤葉の柳に似たるも荒花に似たるもあり

白及 苗長して一尺許黎蓋に似たり莖の端に一莖を生じ夏むをひらく紫なり七月実を結ぶ白むもあり

白鮮 苗生して高尺餘あり四月に花を開て淡紫色小蜀葵に似たり根ハ蔓菁に似たり皮の色黄白なり

白薇 葉柳葉に類して六七月紅花を開く八月に実を結ぶ根黄色牛膝に類して短し

和名シラン

和名ロクエンソウ

地榆 宿根より生ず高三四尺葉挾細にして鋸葉なり七月花をひらくなり

平地木 高尺にこれ葉緑に子甚だ多ハ巌壑幽處にはそふて生ず

茅藤果 葉ハ竹のごとし子を枝に葉下に生ず赤こと丹砂乃ごとし霜雪にもよくあらはれ梅雨の中に開く

和名ワレモカウ

和名ヤマタチハナ

和名ヂフカウジ

胡黄連 胡国に生ず今處々にあり初生蕙に似たり乾ては楊柳の枯枝に似たり心黒く外黄し

黄連 苗ハ茶に似て叢生ず一莖三葉を生ず冬も凋ずれども黄色し所によりて花葉の容りかゝ

橐五口 茎ハ歎冬に似て大なり色深青冬黄花をひらく山崖窓間に多し よく魚毒をけす

和名ツワ

金莖花 一名高良姜紫白金黄の三色あり 諺曰不帯金莖花不得入仙家とあるなり

秋牡丹 春栽て秋花さく初ハ深紅にして淡紅つゝに菊に似たり葉ハ三岐にあして臭あり実ありて生ず

三七 本名山漆 春苗を生じ反る三四人葉芝に似て勁厚し秋黄むをひらく此葉を三右曰故に三七となづく

萬年青 葉ハ薏苡ニ似テ短く厚シ冬ニも枯ニ入ル葉交ありて無しつへし

金星草 葉青多く背陰の石上に生ル葉長一二尺冬ニ至て背上ニ黄星點子と生ル両ニ相對し鉄色のごとし

骨碎補 根大木に生し或ハ石上多くハ背陰の處にありこれを名ハ孫姜といふ折傷を主とれば名あるし

和名ヲモト

景天 葉ハ馬歯莧にて大ニ海ニ多くつよし昔より慎火草と一物とし形同しからず大ニ繁りて

紫背金盤 苗の高さ一尺くらい葉の背紫にて花なし根をとるにはなし

地錦草 苗葉細弱にして蔓となりて地ニ遍し莖赤く葉青し中夏茂盛ル ツタヲモ地錦トス別ナリ

和名ヘンケイソウ

石莧 莖葉青くなるさ一尺ならず葉水柳乃ごとく短し多くハ河岸沙石の上に生ル

崖椶 苗の高一二人已来四季葉ハあり其根を用ゆ むかし

石長生 葉ハ蕨ニ似又檜ニ似たり多くハ山陰石岩の下ニ生ル 世ニ石長生をしこれなくいふまたなくさる乾

和名シノブクサ

當帰 春苗を生し葉縁にて三瓣あり七八月をひらく芹なり似たるものなり

肉豆蔻 胡国より出つ今嶺南人家にこれをうゆ花實豆蔻ニ似て圓く小く皮紫ニ内の肉辛

白豆蔻 苗ハ芭蕉ニ類し杜若ニ似て長八九尺にて光滑冬ニ夏凋まれば海黄色実あり

白芷 葉

相對ニ紫色ヲ帶サ三指ノ如シ 花白ク微黃ヲ帶ル 八月ニ入テ實ヲ結ヒ其ノ子ハ

蓬莪茂 昂

莪木ニ似テ高サ二三尺 葉青白色長一二尺 蓑荷ニ類シテ五月花アリ 穗トナル 根ハ生姜ノ如クナリ

京三稜 春苗

ヲ生ジ高サ三四尺 菱蒲葉ニ似テ皆三稜アリ 五六月花ヲ開ク 湖草ニ似タリ

華撥 叢

生高三四尺 葉圓ク湖二三寸 桑ノ如シ 二三月白ヒヲ開ク 七月子ヲ結ブ 搗テ衣ニ染ル

鬱金 四月

苗ヲ生ジ 莖黃ニ似タリ 花白ク實ヲ結ブ 根莖赤シ 姜ニ似テ

補骨脂 昂破

故紙ナリ 莖乃高サ二四尺 葉ハ麻ノ如シ 微紫色 實ハ麻子ノ如ク圓扁ナリ

零陵香 葉ハ

麻ノ如クニシテ 對生シ氣ハ藿 蕪ノ如シ 七月花ヲ開テ 子ヲ結ブ

獨顆蘭 葉ハ

蘭ニ似テ小シ 白ヒヲ帶ル 赤シ

和名 赤ノリ

茅香 三月

苗ヲ生ジテ大麥ノ如シ 五月白花ヲ開ク 又黃花アリ 又實ノ有ルモノアリ

木香 葉ハ

羊蹄ニ似テ長大ニシテ 花ハ菊ノ如シ 又葉山ノ芋乃ト云紫花ヲ開ク 苦ク根ノ形柘骨ニ似タリ

杜若 江湖

ニ生ジ葉ハ蓼ニ似テ 花赤色根ハ白芷ニ似テ小シ 和名カキツバタ

茆草 卯

香附子ニ似テ細疵 處々ニアリ 葉ハ三稜ニ似テ根ハ附子ノ如クニシテ毛多シ

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』　請求記号 031-H545t

ガラス使用

薄荷 莖葉
荏に似て光長
冬を歴て根死
すして春生は
夏秋莖葉をとり暴乾し

蘿香 葉ハ
桑に似て小く落
し六月にしる
豆を藿といふハ
形似たる故也
和ニアルハ藥ニ用テ
ヨロシカラス

高良薑 春苗
を生は莖葉姜
苗の如く大なり
高一二尺なり
花ハ紫色山
姜のごとし

益智 葉ハ
蓑荷に似て高
丈餘其根の旁
に小枝を生は其
花萼ハ穂を成
子ハ棗のごとし

縮沙蜜 苗莖
高良姜に似て
三四尺三月を
を開て根下に
あり五六月実
をなす

甘松香 叢
生し葉細くして
茅草に似ち根
極て繁密なり
八月採て湯浴
すれば務香し

香薷 印
穂に似て葉更
に細し十月に
とる一にハ香薷
に作る

茉莉 花ハ
春末より開て香
香あり花白千
葉のこのあり植
て觀賞とす

藁本 葉ハ
白芷に似て香ハ
甚麗に似て細
五月白芷を開く
七八月子を結ふ
根紫色なり

菊醬 木に
緑て生は其子
桑のごとし熟すり
と長さ二三寸蜜
に藏て食は辛
く香し

天門冬 蔓
生ましてある一丈
餘ものなる葉
茴香のごとし逆
刺あり刺あるも
あり夜花咲し

菟絲子 夏
苗を生は絲の
とく草木乃
うへにひく六七
月子を結ふし

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

【葎草】葉ハ蔴ノ葉ノ如クニシテ小ク細刺アリ莖ハ紫ヲ帯ビ又白シ實ハ蔴ノ實ニ似テ小シ一名猪殃殃

【白薬】苗ハ苦菅ニ似テ四月ニ生ジ莖長ク蔓ヲ引キ葛藟ニ似タリ六月白花ヲ開キ八月實ヲ結ブ

【紫菫】春生夏花ヲ着ケ蒲菊ニ似テ紫色長ク大者徑二三寸葉ハ蕨葉ニ似テ根皮ハ紫色ヲ帯ブ

和名ムグラ

【赤地利】春夏苗ト生ジ蔓ヲナシ草木ノ上トモニ纏ヒ登ル莖赤ク棊ノ如シ蕎麥ノ花ニ似テ七月白花ヲ開ク秋ニ至テ枯ル

和名イレイ

【貝知子】蔓生大木ノ上ヨリ下ル葉線ニ三角アリ面ニ筋アリ背淡シ七八月實ヲ結ブ

【千里光】葉ハ菊ニ似テ小ク枝長ク幹圓クシテ淡背ニ毛アリ秋莖葉ヲ生ジテ花ヲ着ク黄色

【使君子】三月苗ヲ生ジテ深ク五六尺ニ及ブ葉ハ五瓣アリ七八月實ヲ結ブ大サ梅ノ如シ

【蠻枝牡丹】枝葉ヲ倚掛テ生ズ牡丹ノ態ニ似テ甚小ク小庭ニ綠苑用ノ觀ヲナシテ雅ナリ

【鉄線】州ニ生ジ三月根トシテ用ヒ土人腫毒ヲ消ス

和名カザクルマ

【馬兜鈴】苗生シテ葛蔓ノ如ク葉山芋ニ似リ六月花ヲ開キ七月實ヲ結ブ大サ瓜ノ如シ

【天壽根】台州ニ生ジ二毎歳土貢トス性涼ニシテ甚胸膈ノ煩熱ヲ治ス

【威霊仙】生ズル和名ト衆草ニ比シテ最先ニ葉柳ニ似テ長ク車輪ノ如シ花淺紫ニ式瓣白ヲ帯ブ

和名クサイカリソウ

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

白英 蔓

生ずる葉多く白毛あり夏花さきその実ありて赤し 一名雪下紅 一名何首烏 春苗と生ず山芋の如く其蔓竹木に起て夏秋黄白花を開くのち稜ありて秋久しき根となる大ハ拳のごとし

和名ヨヨトリビマウコ

蕃薯 蔓生

近年ようやくさかんに作て利多し倉しておくに人ろう蔓ありうらの法ハ冬月掘ておくべし

和名リウキウイモ

通草 木通

葉名葛に似て三葉相対し花白く実米似の如くくらべ草巻なり

冒児豆 蔓生

とう瓜秋の末いろいろく実をしき花咲ちう実をむすぶ葉もまく冬も凋ず八月ころ用の一種小撫の如くなるあり

山豆根 蔓生

豆根のごとし葉もまく冬も凋ず八月ころ用の一種小撫の如くなるあり

和名アヲヒ

和名イヘンノコ

南瓜 蔓

實むすぶ円圓ありて西瓜のごとく色赤しまた大き蔓もあり

○色ノ白キハ多ク凡上云ル此類ナリ

金我鳥疋虫 瓜の

色淡黄みて形我鳥の卵のごとく味ありて美なり 童児のこれをおそれ顔をあらくものゝ

西瓜 實と

絵の円圓なる大き瓢のごとく色ありの如しまた金色又黒きあり

○なべ赤ヲカラ上云形少小ブリナリ

和名ヒメウリ

和名スイクワ

和名ボウブラ

括樓 蔓

生にして雄瓜の如く細花七月ころ実むのごとく実のうち種多し

蘿摩子 藤

生ずるとき葉を食しあれとつるし鳥けりありおハ瓢形ち薬酒あり 一名羊角菜

石南藤 天合

山中に生ず其苗のびて木上ととゝ四時ともにあり

和名カヘイモ

和名カルリ

和名フウトウ

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』　請求記号 031-H545t
ガラス使用

獨用藤 葉ハ
に生ズ四時葉
あり花なし
葉上に刺
あり五月時
なり

瓜藤 四時
葉あり花な
らず
時々
施加ス生ズ

倉春藤 合歡
に生ズ苗蔓
木上ニまとふ
冬も凋まず一ト
入葉として
藥ニ入ル

血藤 葉ハ
蒲蘭の如ク
根ハ大指の
如ク其色黄
なり五月ニ

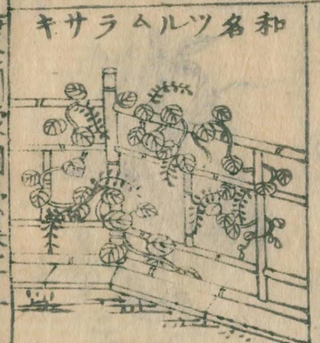
鉤藤 葉ハ
細長く節間
ニ刺あり
鉤の
如し

百稜藤 合歡
に生ズ春苗を
生ズ蔓て木上
とまとふ花ない
葉なり冬を度と
藥ニ入ル

祈婆藤 天合
山中に生ズ其苗
蔓て木上とぬ
とふ四時つゐに
あり土人葉を
とる

烈節 苗葉
俱に丁公藤に
似ざる花実ハ
九月ニ
あり

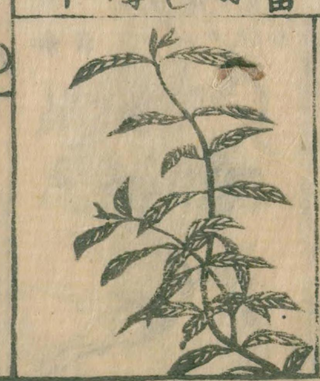
落葵 雞冠
一ト蔓延て七月
の比番々なり
葉圓て光沢あり
汁熱ク人ヘ
實熟して紫
黒色となむへし



落鳫木 蔓
生ずて木とぬ
とふ葉形茶に
似ざる花實ハ
四月ニ
あり

百部 春苗
和名キチカクシ
七生一茼香葉
うくひうるゐ
二三ずつ交と
なす土人ハ
シクカチ

石合草 其苗
まんまんよ四時
葉あり
その葉乃味甘
とろにくし



国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

我鳥抱 山林の中石に附て生し蔓となる葉大豆に似たり根ハ菜服に似たり大小あり

木鼈子 春苗を生し蔓となる四月黄花を生六月實へを結ぶ括婁に似て大し其核鼈に似たりゆへに名つくらし

千歳藁 葉ハ葡萄にてその芽白汁ありて其しハ五月花をひらき七月実をむすぶ

和名アマチヤ

和名マチン

羊乳根 蔓生みて長さ二三尺葉葉ふかくして三葉あり葉と似たり沖出つ根ハ蘿蔔のごとくにして皺なし又丸きもありなし花と俯さらしし

大青 苗高三尺ばかり茎石竹に類し葉圓長色ハ紫にして馬蓼に似たり根黄色なり

小青 三月花を生れそ乃月葉をとり福州の土人生にてつき碎て癰瘡を治れ

和名ツルニンジン

麻黄 苗を生し夏長して一尺ばかり梢上に黄花あり実を結て百合瓣のごとくにして小し

地黄 二月葉を生して地に布て車前に似たり葉上に離文あり花沈麻花に似て紅紫なり

葫蘆巴 春苗を生し夏子を結秋に至てこれをとる此種海南諸番に出つし

和名カハラトクサ

紫苑 苗を生して其葉三四相つくなり五六月のうちに黄紫白花をひらく実を結て悪し根をとる

雞腿兒 苗の高七八寸細もく鋸歯硬厚く背白し黄花を開根ハ指の大ばかり一名ハ飜白草

九牛艸 二月苗生し独茎高一尺葉艾に似て圓く長し背に白毛あり面青し

和名ヲニノシコ

和名ツチナ

○カハラサイコ

陸英 春苗
と抽て莖に節あり節の間に枝葉を生ぜ大なり水芹に似たり春夏葉をとる

水英 池沢
及び河海ちに生ぜ海人呼て牛蘊とぜ蜀郡の人甚花を採て面藥に合ぜ

白蕚 葉ハ
沢浮に似て小し甚形鷺飛に似たり根ハ慈姑のごとく小圓根あり水を出し

和名サキソウ

穀精草 穀田
の中に生ぜ葉鮮ともに青し根花並に白色一名戴星草と云ハその葉細に花白く圓に星に似たり故し

曲節草 四月
苗を生ぜ莖にて節あり七八月花を開く落荷に似たり子を結

馬鞭草 春苗
を生して狼牙に似たり又蒼母に數して莖圓しる二二尺三四穂を抽つるなり
○秋芽と同し

和名ハセクサ

和名クマツヾラ

江芏 淡水
の池に生ぜ焼心草に似て三角し織て席とぜ
薩刀ハ七島ヨリ出故二七島ト席ヲ名ツク

鱧腸 昴
蓮子草し下濕の地にこれあり二種あり葉柳に似て光澤ありて馬蓮苑に似つ一種ハ桔梗に似たり

陰地厥 葉ハ
青蒿に似て莖紫色花小穂となぜ微黄細辛に似たり

和名シチトヲ

和名タカサブラウ

葶藶 苗と
生ぜ葉の高六七寸三月黄花と開くまい角にして扁小黍粒のごとく立夏の後採つし

海金沙 秋生
して小株となぜる一二人七月採て日中に乾く紙をいて繋ぐ其沙と紙上にとぜ

蛇含 土石
の上或ハ下濕の地に生ぜ一莖に五又七葉面程あり葉細く花黄なりと佳とぜ

和名イヲナツナ

和名カニクサ

和名キヲンソウ

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

青箱子　苗長
一ト三四尺柔潤
物に似ず莖ハ
青紅色高く伸
らと月莢を
開くよりト白
一ツおわり

敗醤　叢
生ず一ト花黄色
根ハ色深朗る
似て陳敗豆醤
の氣わる故ノ
名ありト云

續斷　甚深
苧ノ似て莖方に
葉あり對ス
莖白く莖ノ処
ごとくひらく花ハ
薊のごとし

和名ヲミナヘシ

和名ウトイカノ

和名ヲドリソウ

龍葵　葉
圓く莖白く実
牛李の如く
生ずるに熟して
黒一青ハ食
へし

王不留行　葉ハ
尖ありて一ト根葉
のごとく又根葉
ニ似ごわり四
月花とひらく
葉ともに莖ノ添
て生ず

筆頭菜　春初
花と生ず其形
筆ノ頭ノごとし
蓬蒿草の未
葉のごとくいつも
ノ如し

和名ミヤマキケチシヤ

和名ツクシ

和名ウシホコキツ

火炭母艸　莖赤
して粟ノ如く細く
藜ノ葉ノ似て端
尖る夏白むと
ひらく秋實
わりて豆のと

草一名　此草春種
秋花とひらく實の皮
裂て綿と出ル子を
ちてつぶこぼれて布沢
ニ此草ハ朝植武天皇の
延暦十八年三河国より
崇神入鹿葛を献中に
此実あり試して藩園
に植しむその後
年々
再ひ種とぬて今ニ
ひろまり

海根　山谷
ノ生一ト莖わく
馬蘭ノ似て根
莢蒾ノ似く小

和名ミツヒキ

木草二種アリ木ハ木部ニアリ

天名精　夏秋
枝と抽て薄荷
のごとく花紫白
して葉松葉
の如く次小く
香氣蘭ノ似り

和名ヤブタバコ

夾明子　苗生
して高三四尺
六七月莢と開
黄白色其ノ青
緑豆の如くて
稜あり

連翹　苗生
して莖長　榆葉
の如く莖赤く高
三四尺くらい花
莢に秋実のる
又一種蔓生多
枝あり

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

山鐵蕉 葉ハ蕨のごとく根ハそのかのごとし狗脊ハ薇蕨の一種なり

覇王樹 その形胡瓜壓のかしを添ふまして判あるといふなくもなし

肉蓯蓉 并鎖陽 西羌より出つ形藕根のごとし鱗甲あり列當鎖陽これ同じ類し人誤テ覇王樹とスルフナカレ

和名クサソテツ

和名サンホテ イロヘル タウナツ

鎖陽 蓯蓉 列當

丁香加苗 蔓生 ふしで雛鳥也ようの莖葉刺多し葉ハ牽牛葉にて花も似たり子ハ茄子の小さごとし

鹹草 扶桑 其の東ハ安國あり此草と産ハ葉邪蒿ハ似て氣香しく味鹹し其人これをくらふ○今八丈ノ鳥にあるアレタと云草此草を以てこゝろ写ハ八丈ハ古の蓬

黄花菜 形ハ油菜ニ似て黄なるにいふ芸苣をむらく整人これをくらふ和ノ七種ニ用ゐタビラコなり

国立国会図書館　　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』　請求記号 031-H545t

ガラス使用